（様式第 10）

九大院医医第　８７　号
平成２７年１０月　５日

九州厚生局長　殿

九州大学病院長　石　橋　達　朗　（印）

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成２６年度の業務に関して報告します。

記

1　開設者の住所及び氏名

住　　所	〒812-8581　福岡市東区箱崎6-10-1
氏　　名	国立大学法人九州大学

（注）　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名　　称

九州大学病院

3　所在の場所

〒812-8582　福岡市東区馬出３－１－１ 電話(092)641－1151（代表）

4　診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注）　上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科						有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
診療実績						

（注）1　「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

（注）2　「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

（注）3　「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2)外科

外科	[有] ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1　2　3　4　5　6　7 8　9　10　11　12　13　14	
診療実績	

(注) 1　「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2　「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

[1]精神科　[2]小児科　[3]整形外科　[4]脳神経外科　[5]皮膚科　[6]泌尿器科　7産婦人科
[8]産科　[9]婦人科　[10]眼科　[11]耳鼻咽喉科　[12]放射線科　13放射線診断科
14放射線治療科　[15]麻酔科　[16]救急科

(注)　標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4)歯科

歯科	[有] ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1　2　3　4　5　6　7	
歯科の診療体制	

(注) 1　「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2　「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注)　標榜している診療科名について記入すること。

5　病床数

精　神	感染症	結　核	療　養	一　般	合　計
９３床	床	床	床	１，１８２床	１，２７５床

6　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

（平成２７年１０月１日現在）

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種		員数
医師	330人	200.8人	530.8人	看護補助者	23人	診療エックス線技師		0人
歯科医師	91人	58.4人	147.4人	理学療法士	19人	臨床検査	臨床検査技師	93人
薬剤師	84人	0人	84人	作業療法士	7人		衛生検査技師	2人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	7人		その他	0人
助産師	39人	0人	39人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師		0人
看護師	1192人	10.5人	1202.5人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者		9人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員		28人
歯科衛生士	19人	0人	19人	歯科技工士	8人	事務職員		275人
管理栄養士	7人	0人	7人	診療放射線技師	65人	その他の職員		168人

（注）１　申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
２　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
３「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下２位を切り捨て、小数点以下１位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

（平成２７年１０月１日現在）

専門医名	人数	専門医名	人数
総合内科専門医	３２人	眼科専門医	１２人
外科専門医	６４人	耳鼻咽喉科専門医	１１人
精神科専門医	１３人	放射線科専門医	２４人
小児科専門医	３０人	脳神経外科専門医	８人
皮膚科専門医	７人	整形外科専門医	１９人
泌尿器科専門医	１１人	麻酔科専門医	１７人
産婦人科専門医	２４人	救急科専門医	６人
		合計	２７８人

（注）　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下１位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
１日当たり平均入院患者数	1,025　人	34　人	1,059　人
１日当たり平均外来患者数	2,139　人	692　人	2,831　人
１日当たり平均調剤数			2036.5　剤
必要医師数			237.0025　人
必要歯科医師数			38.53　人
必要薬剤師数			35.23　人
必要（准）看護師数			626.97　人

（注）１　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
２　入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の 24 時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。
３　外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4　調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

9　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備		概要	
集中治療室	166.98 m²	鉄筋コンクリート	病床数	10床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	［固定式の場合］ 床面積 1,203.4 m² 病床数 56 床 ［移動式の場合］ 台数 台					
医薬品情報管理室	［専用室の場合］ 床積 84.74 m² ［共用室の場合］ 共用する室名					
化学検査室	1,597m²	SRC	（主な設備）冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置			
細菌検査室	629m²	SRC	（主な設備）冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置			
病理検査室	371m²	SRC	（主な設備）ﾊﾞｰﾁｬﾙｽﾗｲﾄﾞｽｷｬﾅｰ、自動免疫染色装置			
病理解剖室	350m²	SRC	（主な設備）ﾗﾐﾅﾌﾛｰﾕﾆｯﾄﾊﾞｲｵﾊｻﾞｰﾄﾞ解剖台			
研究室	0m²		（主な設備）			
講義室	0m²		室数 室		収容定員 人	
図書室	0m²		室数 室		蔵書数 冊程度	

(注) 1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	84.2 %	逆紹介率	67.0 %

算出根拠		
A	紹介患者の数	22,262 人
B	他の病院又は診療所に紹介した患者の数	19,052 人
C	救急用自動車によって搬入された患者の数	1,686 人
D	初診の患者の数	28,426 人

(注) 1　「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2　「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3　A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価　C型肝炎	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	3人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	3人
術後のホルモン療法及びS－1内服投与の併用療法	1人
ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績　※該当なし

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

（注）1　当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2　医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	182人	・膿疱性乾癬	5人
・多発性硬化症	261人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	169人	・原発性胆汁性肝硬変	85人
・全身性エリテマトーデス	418人	・重症急性膵炎	5人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	284人
・再生不良性貧血	58人	・混合性結合組織病	41人
・サルコイドーシス	120人	・原発性免疫不全症候群	45人
・筋萎縮性側索硬化症	31人	・特発性間質性肺炎	29人
・強皮症，皮膚筋炎及び多発性筋炎	294人	・網膜色素変性症	176人
・特発性血小板減少性紫斑病	81人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	39人	・肺動脈性肺高血圧症	47人
・潰瘍性大腸炎	462人	・神経線維腫症	34人
・大動脈炎症候群	13人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・ビュルガー病	30人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	33人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	28人
・脊髄小脳変性症	83人	・ライソゾーム病	12人
・クローン病	334人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	33人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	6人
・悪性関節リウマチ	8人	・脊髄性筋委縮症	4人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	149人	・球脊髄性筋委縮症	3人
		・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	40人
・アミロイドーシス	16人	・肥大型心筋症	21人
・後縦靭帯骨化症	59人	・拘束型心筋症	0人
・ハンチントン病	0人	・ミトコンドリア病	12人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	55人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	19人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	88人	・黄色靭帯骨化症	4人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	12人	・間脳下垂体機能障害(PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	244人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人		

（注）「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料（一般病棟7対1）	・新生児特定集中治療室退院調整加算 1
・特定機能病院入院基本料（精神病棟13対1）	・新生児特定集中治療室退院調整加算 2
・臨床研修病院入院診療加算（医科・歯科）	・新生児特定集中治療室退院調整加算 3
・救急医療管理加算　1	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・超急性期脳卒中加算	・総合評価加算
・妊産婦緊急搬送入院加算	・病棟薬剤業務実施加算
・診療録管理体制加算　1	・データ提出加算2
・急性期看護補助体制加算（50対1）	・救命救急入院料1
・看護職員夜間配置加算	・救命救急入院料3
・看護補助加算　1	・救命救急入院料4
・療養環境加算	・特定集中治療室管理料 3
・重症者等療養環境特別加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・無菌治療室管理加算2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・緩和ケア診療加算	・小児入院医療管理料1
・精神科身体合併症管理加算	・地域歯科診療支援病院歯科初診料
・摂食障害入院医療管理加算	・歯科外来診療環境体制加算
・がん診療連携拠点病院加算	・歯科診療特別対応連携加算
・栄養サポートチーム加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・医療安全対策加算1	・歯科治療総合医療管理料
・感染防止対策加算1	・在宅患者歯科治療総合医療管理料
・感染防止対策地域連携加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料（植込型除細動器移行加算）	・胎児心エコー法
・高度難聴指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・糖尿病合併症管理料	・人工膵臓
・がん性疼痛緩和指導管理料	・皮下連続式グルコース測定
・がん患者指導管理料　1	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん患者指導管理料　2	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・がん患者指導管理料　3	・脳磁図
・外来緩和ケア管理料	・神経学的検査
・移植後患者指導管理料（臓器移植後の場合）（造血幹細胞移植後の場合）	・補聴器適合検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・ロービジョン検査判断料
・外来放射線照射診療料	・コンタクトレンズ検査料1
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・地域連携診療計画管理料（脳卒中）	・センチネルリンパ節生検（乳がんに係るものに限る。）
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算2
・がん治療連携管理料	・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
・認知症専門診断管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・肝炎インターフェロン治療計画料	・冠動脈CT撮影加算
・薬剤管理指導料	・外傷全身CT加算
・医療機器安全管理料1及び2	・大腸CT撮影加算
・持続血糖測定器加算	・心臓MRI撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・HPV核酸同定検査及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	・外来化学療法加算1
・検体検査管理加算（Ⅳ）	・無菌製剤処理料
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む。）
・植込型心電図検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む。）
・時間内歩行試験	・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む。）

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む。）	・経皮的中隔心筋焼灼術
・外来リハビリテーション診療料	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・認知療法・認知行動療法	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・精神科作業療法	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術（レーザーシースを用いるもの）
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
・医療保護入院等診療料	・補助人工心臓
・エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）	・植込型補助人工心臓（拍動流型及び非拍動流型）
・一酸化窒素吸入療法	・同種心移植術
・皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。）	・経皮的大動脈遮断術
・組織拡張器による再建術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）	・ダメージコントロール手術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）
・脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・体外衝撃波胆石破砕術
・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	・腹腔鏡下肝切除術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの）	・生体部分肝移植術
・網膜再建術	・同種死体肝移植術
・羊膜移植術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器植込及び植込型骨導補聴器交換術	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ型（拡大副鼻腔手術）	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2	・腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
・経皮的冠動脈形成術	・同種死体腎移植術
・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）	・生体腎移植術
・経皮的冠動脈ステント留置術	・膀胱水圧拡張術
・経皮的大動脈弁置換術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工尿道括約筋植込・置換術	・歯周組織再生誘導手術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・手術時歯根面レーザー応用加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術	・歯科矯正診断料
・胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	・歯科口腔リハビリテーション料 2
・輸血管理料Ⅰ	・CAD/CAM 冠
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・顎口腔機能診断料（顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る。）の手術前後における歯科矯正に係るもの）
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・内視鏡手術用支援機器加算	・
・麻酔管理料（Ⅰ）及び（Ⅱ）	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療（IMRT）	・
・画像誘導放射線治療加算（IGRT）	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・病理診断管理加算2	・
・歯科病理診断管理加算2	・
・歯科画像診断管理加算1及び2	・
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・
・歯科技工加算	・
・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術（H26年4月）	・
・腹腔鏡下スリーブ状胃切除術（H26年4月）	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

（注）1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
（注）2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法（平成六年厚生省告示第五十四号）に先進医療（当該病院において提供していたものに限る。）から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	(1) 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	24件
剖検の状況	剖検症例数　84例　／　剖検率　27.72%

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
1	悪性幹細胞を標的とするヒト慢性骨髄性腫瘍制御法の確立	赤司　浩一	第一内科	1,300 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究Ａ）
2	癌幹細胞を標的とする腫瘍根絶技術の新構築の総括班	赤司　浩一（分担）	第一内科	840 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（新学術領域研究（研究領域提案型））
3	ヒト癌幹細胞の同定と生体内機能解析システムの構築	赤司　浩一	第一内科	5,694 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（新学術領域研究（研究領域提案型））
4	ヒト型完全マクロファージ寛容導入免疫不全マウスによる新規がん幹細胞アッセイの確立	赤司　浩一	第一内科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
5	特発性造血障害に関する調査研究	黒川　峰夫	第一内科	50 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)
6	精神疾患患者早期介入のための医療従事向け研修プログラム開発−メンタルヘルス・ファーストエイドの応用−	加藤　隆弘	第一内科	283 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(障害者対策総合研究)
7	慢性リンパ性白血病モデルマウスを応用した原因遺伝子の探索	宮本　敏浩	第一内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
8	白血病幹細胞特異的抗原TIM—3に対する標的治療の開発	宮本　敏浩	第一内科	442 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
9	GVHD/GVLに関わるメモリーT細胞分化のメカニズム	加藤　光次	第一内科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
10	ミトコンドリア代謝を介した白血病幹細胞制御機構の解明と標的治療の探索	亀崎　健次郎	第一内科	200 万円	補	公益財団法人　武田科学振興財団
11	好中球系統特異的前駆細胞の同定と分化機構の解明	森　康雄	第一内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
12	ヒト赤芽球系統特異的前駆細胞分画を用いた骨髄異形成症候群の病態解明	森　康雄	第一内科	100 万円	補	公益財団法人安田記念医学財団
13	骨髄異形成症候群(MDS)の病態形成における赤芽球系統特異的前駆細胞の役割	森　康雄	第一内科	50 万円	補	日本白血病研究基金
14	好中球特異的前駆細胞の同定と分化機構解明	森　康雄	第一内科	100 万円	補	公益財団法人 かなえ医薬振興財団
15	系統特異的前駆細胞を標的とした骨髄系腫瘍の新規制御法	森　康雄	第一内科	30 万円	補	公益財団法人 福岡県すこやか健康事業団
16	大規模ゲノム疫学共同研究による認知症の危険因子および防御因子の解明	清原　裕	第二内科	4,320 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(認知症対策総合研究)
17	社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した国民代表集団の大規模コホート研究：NIPPON DATA80/90/2010	清原　裕	第二内科	50 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
18	身体活動・不活動量、運動量の実態とその変化が生活習慣病発症に及ぼす影響と運動介入支援の基盤構築に関する研究	清原　裕	第二内科	200 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
19	COPDに関する啓発と早期発見のための方策に関する研究	清原 裕	第二内科	100 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
20	特定健診・保健指導におけるメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出に関する横断・縦断研究	清原 裕	第二内科	110 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
21	循環器疾患における集団間の健康格差の実態把握とその対策を目的とした大規模コホート共同研究	清原 裕	第二内科	185 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
22	脂質メディエーター関連遺伝子のSNPと疾患	清原 裕	第二内科	1,937 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（新学術領域研究（研究領域提案型））
23	「脂質マシナリー」領域研究の推進	清原 裕（分担）	第二内科	195 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（新学術領域研究（研究領域提案型））
24	一般地域住民を含む糖尿病患者データベース構築による前向きゲノムコホート研究	清原 裕（分担）	第二内科	50 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究Ａ）
25	多点観察による身体活動・運動量、体力と健康事象に関する運動疫学研究	清原 裕（分担）	第二内科	90 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究Ａ）
26	半導体シーケンサーによる口腔フローラの網羅的解析結果と健康との関連性の解明	清原 裕（分担）	第二内科	30 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
27	持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム	清原 裕	第二内科	150 万円	補	独立行政法人科学技術振興機構・博士課程教育リーディングプログラムP<オールラウンド型＞
28	海洋性ω3およびω6脂肪酸が脳・心血管病、認知症、うつ病に及ぼす影響：久山町研究	清原 裕	第二内科	1,000 万円	委	公益財団法人 先端医薬研究振興財団 特定研究助成金
29	エビデンスに基づく身体活動と身体不活動の科学の構築：運動疫学および運動分子 生物学的手法を用いての解明	清原 裕	第二内科	100 万円	補	九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(P&P)Aタイプ
30	次世代プロテオミクスと数理情報科学の融合によるネットワーク創薬研究拠点の形成	清原 裕	第二内科	40 万円	補	九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(P&P)Aタイプ
31	胃薬テプレノンのアルツハイマー病治療薬としての開発	清原 裕	第二内科	140 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(認知症対策総合研究)
32	組織修復による恒常性維持応答とその変容に基づく生活習慣病・がんの病態解明とその制御	清原 裕	第二内科	325 万円	補	独立行政法人科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業(CREST)
33	バイオバンクの構築と臨床情報データベース化（臨床情報データ解析の実施）	清原 裕	第二内科	220 万円	補	文部科学省 科学技術試験研究委託事業「数学・数理科学と諸科学・産業との協働によるイノベーション創出のための研究促進プログラム(数学協働プログラム)」
34	認知症・生活習慣病研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発	清原 裕	第二内科	175 万円	補	研究成果展開事業センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム
35	日本人地域住民における心房細動の実態と危険因子に関する研究：久山町研究	秦 淳	第二内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
36	インジウム等レアメタルによる職業性疾患予防および病態解明のための疫学研究および動物実験研究	田中 昭代	第二内科	1,690 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(労災疾病臨床研究事業費補助金)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
37	プラズマ・ナノマテリアル動態学の創成と安全安心医療科学の構築	田中　昭代	第二内科	2,665 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（新学術領域研究（研究領域提案型））
38	地域住民におけるHbA1cを用いた糖尿病の診断基準の検証に関する横断・追跡研究	向井　直子	第二内科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
39	インジウム作業者の毛髪汚染－インジウムの毛髪付着ダイナミクス研究	平田　美由紀	第二内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
40	地域住民における余暇時の運動習慣および運動量が健康寿命に与える影響：久山町研究	岸本　裕歩	第二内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
41	視覚障害を及ぼす眼科疾患の危険因子および予防因子の解明：久山町研究	安田　美穂	第二内科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
42	頸動脈の動脈硬化病変の進行と心血管病発症の予測因子としての家庭血圧の意義	福原　正代	第二内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
43	久山町住民における遺伝・環境要因を考慮したインスリン分泌能長期追跡	土井　康文	第二内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
44	腎移植患者におけるPolyomavirus BK感染に関する前向き研究	升谷　耕介	第二内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
45	オートファジーは血管石灰化を抑制するか?	鳥巣　久美子	第二内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
46	腹膜透析診療チームで行う包括的腎臓リハビリテーション	吉田　寿子	第二内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
47	全エクソンシーケンスによる非特異性多発性小腸潰瘍症の原因遺伝子同定	梅野　淳嗣	第二内科	93 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
48	腸内細菌による宿主行動変化の全容とそのメカニズムの解明	須藤　信行（代表）	心療内科	520 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
49	カテコラミンを介した細菌と宿主との対話：心身相関の新しいパラダイムの創出	須藤　信行	心療内科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
50	摂食障害の診療体制整備に関する研究	須藤　信行（分担）	心療内科	74 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(障害者対策総合研究)
51	心身症・摂食障害の研究ネットワーク拠点整備と治療プログラムの開発	須藤　信行（分担）	心療内科	100 万円	補	厚生労働省精神・神経疾患研究開発費
52	慢性疼痛のトランスレーショナルリサーチ―精神心理学的・神経免疫学的側面からの病態解明と評価法開発―	細井　昌子	心療内科	690 万円	委	厚生労働省　科学研究費委託金(慢性の痛み解明研究事業)
53	一般住民における心理特性・自律神経機能・失体感傾向と慢性疾患の関連：久山町研究	細井　昌子	心療内科	260 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
54	長期飢餓ストレスが及ぼすエピジェネティック変化メカニズムの解明と臨床応用への展開	高倉　修	心療内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
55	肥満に対する減量およびリバウンド防止のための効果的治療法の開発と検証	野崎 剛弘	心療内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
56	脱髄性疾患・統合失調症における白質グリア障害の機構解明と画期的治療法の開発	吉良 潤一	神経内科	1,313 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
57	コネキシンサイトパチーによる脱髄性疾患の誘導機構の解明と新規分子標的療法の開発	吉良 潤一	神経内科	585 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
58	間葉系幹細胞から誘導した脳移行性シュワン細胞による進行型多発性硬化症の治療法開発	吉良 潤一	神経内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
59	アトピー関連脳脊髄・末梢神経障害の病態解明と画期的治療法の開発	吉良 潤一	神経内科	2,192.4 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(障害者対策総合研究)
60	多発性硬化症生体試料バンクを活用したアジア人特有の遺伝環境因子探索による病態解明	吉良 潤一	神経内科	3,998.8 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等実用化研究(難治性疾患実用化研究)
61	胎児期作成局所皮質異形成ラットの自発てんかんの病態に基づく新規治療法の開発	重藤 寛史	神経内科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
62	アルツハイマー病のインスリン抵抗性を標的とするアポモルフィン治療法の開発	大八木 保政	神経内科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
63	グリアシンシチウムを介するエネルギー供給機構の破綻による巨大脱髄巣形成機序の解明	真崎 勝久	神経内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
64	保護的ミクログリアの選択的・時限的活性化による多発性硬化症の完全寛解誘導療法開発	山崎 亮	神経内科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
65	骨髄・臍帯間葉系細胞由来脳移行性シュワン細胞による脳梗塞の神経修復治療	松瀬 大	神経内科	480 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(障害者対策総合研究)
66	革新的医療機器の有効性又は安全性評価方法確立のための調査研究	戸高 浩司	循環器内科	3,000 万円	補	厚生労働省 革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業
67	チロシンキナーゼ(TK)阻害剤による有効ながん治療の実用化研究	中西 洋一	呼吸器科	2,000 万円	委	文部科学省 次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム
68	進行非小細胞肺癌における癌関連遺伝子の網羅的解析による治療標的分子探索研究	岡本 勇	呼吸器科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
69	高齢者進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する標準的化学 療法の確立に関する研究	岡本 勇	呼吸器科	3,640 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(革新的がん医療実用化研究)
70	RCAS1をターゲットとした新たながん治療戦略の構築	園田 顕三	産科婦人科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
71	転写調節機構から見た子宮体癌の浸潤・転移機構を司る新たな分子機構の解明	淺野間 和夫	産科婦人科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
72	胞状奇胎後続発症のリスク因子と、臨床上有用な続発症予測マーカーの同定	兼城 英輔	産科婦人科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
73	婦人科悪性腫瘍の転移を制御するGPCRシグナルの解析	八木 裕史	産科婦人科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
74	原発性免疫不全症に対する造血幹細胞移植法の確立	高田 英俊	小児科	732 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等実用化研究（免疫ｱﾚﾙｷﾞｰ疾患等実用化研究）
75	川崎病の病因・病態解明に基づく新規治療・予防法の開発研究	原 寿郎	小児科	2,340 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等実用化研究（免疫ｱﾚﾙｷﾞｰ疾患等実用化研究）
76	原発性免疫不全症における遺伝子変異の修復による自己細胞再生療法の開発	原 寿郎	小児科	871 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究Ａ）
77	小児期のホルモンと免疫系細胞・脂肪細胞の分化増殖ネットワークの解明	井原 健二	小児科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
78	糸球体血管内皮細胞を用いたHenoch-Shonlein紫斑病と自然免疫系の検討	井藤 奈央子	小児科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
79	川崎病類似マウスモデルを用いたインフラマソーム関連分子標的治療の検討	永田 弾	小児科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
80	小児がん患者における輸血後鉄過剰症に対する鉄キレート療法の有用性	古賀 友紀	小児科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
81	CARD15の炎症性疾患における病態形成機序に関する研究	高田 英俊	小児科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
82	アデノ・アデノ随伴ウイルスハイブリッドベクターを用いたBTK遺伝子修復研究	山元 裕之	小児科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
83	気管支肺異形成での炎症細胞産生NGALとの関連解析	市山 正子	小児科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
84	精神遅滞関連タンパク質複合体による生後脳発達の制御メカニズムに関する研究	酒井 康成	小児科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
85	川崎病類似Nod1リガンド誘発冠動脈炎におけるオートファジー機構の解析	西尾 壽乗	小児科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
86	壊死性リンパ節炎の非侵襲的早期診断法の開発	石村 匡崇	小児科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
87	エキソーム解析と患者iPSC由来神経細胞を用いたSSPEの包括的な病態解析	石﨑 義人	小児科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
88	小児期粘膜免疫システム構築のメカニズムの解明と疾患関連腸内細菌の同定	瀧本 智仁	小児科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
89	臍帯血有核赤血球の免疫学的応答性と機能的意義の解明	中島 健太郎	小児科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
90	近赤外線スペクトロスコピーを用いた早産児の脳活動と発達特性の相関分析	鳥尾 倫子	小児科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
91	アミノ基特異的誘導体化LC-MS分析による川崎病のバイオマーカー検出	楠田 剛	小児科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
92	母児免疫性血小板減少症および早発黄疸の予測因子の検索	落合 正行	小児科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
93	膵癌浸潤を先導するリーディングセルの解明:第3の浸潤機構に基づく癌治療の新展開	田中 雅夫	第一外科	598 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
94	膵癌微小環境のリモデリングによる膵癌治療抵抗性への新規戦略	田中 雅夫	第一外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
95	エクソソームを介した細胞外miRNA分泌に注目した癌間質相互作用研究の新展開	当間 宏樹	第一外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
96	膵癌のdesmoplasia形成責任間質細胞の同定とその起源解明及びその機能制御	水元 一博	第一外科	598 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
97	膵癌carcinogenesisにおける間質ニッチの関与の検討とその制御法の確立	水元 一博	第一外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
98	オートファジー制御に基づく癌微小環境因子解明と新規DDSを用いた難治癌治療開発	永井 英司	第一外科	572 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
99	オートファジー誘導性癌細胞基質クリアランス機能に注目した新規治療法の開発	永井 英司	第一外科	250 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
100	IPMN併存膵癌の分子生物学解析に基づく膵癌早期診断法の開発	大塚 隆生	第一外科	572 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
101	両刃の剣GLP-1の膵癌治療への応用	大塚 隆生	第一外科	250 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
102	膵癌微小環境normalizationと浸潤を導くleading cellの解明	大内田 研宙	第一外科	559 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
103	転移臓器における播種性癌細胞のセレクション機構の解明	鬼丸 学	第一外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
104	新規ウイルス改変による治療耐性克服と膵癌治療への応用	江上 拓哉	第一外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
105	膵癌早期診断に有用なMRI造影剤内包ナノ粒子の開発	坂井 寛	第一外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
106	メタボローム解析による膵癌特異的代謝産物の同定と分子診断マーカーへの展開	寅田 信博	第一外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
107	オートファジーによる癌幹細胞静止期維持機構の解明及び人工ウイルス治療法の開発	仲田 興平	第一外科	740 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
108	オートファジーによる癌治療抵抗性機構としてのmicroRNAの役割の解明	仲田 興平	第一外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
109	膵星細胞のマトリックス・リモデリングにおける免疫細胞の役割とその制御	難波江　俊永	第一外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
110	膵癌肝転移における微小環境誘導メカニズムの解明とそのリモデリングによる制御	藤田　逸人	第一外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
111	特異的膵星細胞の機能的分取による膵癌Desmoplasiaの解明	藤原　謙次	第一外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
112	膵癌間質細胞の表現型に基づく治療抵抗性機序解明と抗間質薬内包ナノカプセルの開発	前山　良	第一外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
113	周皮細胞による腫瘍血管ネットワークのリモデリングに着目した新規膵癌治療戦略	真鍋　達也	第一外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
114	膵星細胞を介したマトリックス・リモデリングによる膵癌治療の新展開	宮坂　義浩	第一外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
115	膵癌腹膜播種を誘導する特異的間質細胞の同定および膵癌新規治療法の開発	森山　大樹	第一外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
116	癌間質改変による人工ウイルス標的細胞個別化治療戦略の新展開	安井　隆晴	第一外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
117	難治性悪性中皮腫へ臨床応用可能な分子メス:「バイオナイフ」の研究開発	前原　喜彦	第二外科	728 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究Ａ）
118	PD1阻害剤効果規定バイオマーカー探索と新規免疫チェックポイントシグナル分子同定	前原　喜彦	第二外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
119	肝癌の微小環境における炎症の機序解明とPD－1シグナル制御による革新的治療の開発	調　憲	第二外科	533 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
120	癌進展及び創傷治癒における脾臓由来マクロファージを用いた革新的治療法の開発	調　憲	第二外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
121	宇宙空間における筋萎縮（Sarcopenia）の分子機序解明と新たな治療への展開	吉住　朋晴	第二外科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
122	ヒト癌免疫編成機構の分子機序解明と免疫合成致死を誘導する革新的免疫療法の研究開発	岡野　慎士	第二外科	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
123	乳癌におけるゲノム異常と分子サブタイプ及び薬剤感受性との関連	徳永　えり子	第二外科	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
124	非小細胞肺癌における抗炎症及び抗線維化による腫瘍制御とその分子機序の解明	庄司　文裕	第二外科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
125	脂肪肝における虚血再灌流傷害分子機序の解明と治療法の開発	二宮　瑞樹	第二外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
126	食道癌のDNA修復機構に着目した化学・放射線療法感受性の分子機序解明	伊藤　修平	第二外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
127	大腸癌における炎症性メディエーターとメチル化異常に着目した新しい治療法の確立	沖 英次	第二外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
128	癌における染色体維持因子FANCJ発現の意義と新規分子標的癌治療戦略への展開	北尾 洋之	第二外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
129	難治性消化管癌の染色体ダイナミクス解析と革新的治療法の開発	佐伯 浩司	第二外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
130	動脈硬化巣における老化制御遺伝子BubR1の役割とその分子機序の解明	松本 拓也	第二外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
131	ヒトiPS細胞由来肝細胞株の樹立による革新的なハイブリッド型人工肝臓の開発	山下 洋市	第二外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
132	肺癌における染色体不安定性の解明と治療抵抗性克服への展開	岡本 龍郎	第二外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
133	肝移植後の肝癌再発進展における腫瘍関連マクロファージの役割と分子機序の解明	池上 徹	第二外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
134	がん幹細胞・ニッチに注目した胃癌の抗癌剤感受性に関する検討	吉永 敬士	第二外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
135	がんエピゲノムを制御するリジンメチル化タンパク質の探索と難治がん治療への応用	渡邊 すぎ子	第二外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
136	FGFR2を標的とした食道胃接合部癌に対する新規治療法の確立	今村 裕	第二外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
137	新たな免疫制御細胞に着目した悪性胸膜中皮腫に対する複合免疫療法の開発	田川 哲三	第二外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
138	大腸癌におけるTopo I 阻害剤感受性の新規バイオマーカー探索と新しい治療法の開発	安藤 幸滋	第二外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
139	細胞周期関連遺伝子shugoshinのCKOマウスにおける血管病変の分子機能解析	森崎 浩一	第二外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
140	新たな肝再生の分子機序-apelin/APJ系-の解明と治療応用への基礎的研究	吉屋 匠平	第二外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
141	新たに発見した微小管結合性抗癌剤に対する細胞応答の分子機構解明と創薬標的の探索	飯森 真人	第二外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
142	悪性胸膜中皮腫の微小環境の特性を標的とした新規治療法の開発	諸富 洋介	第二外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
143	トリプルネガティブ乳癌における上皮間葉系移行の分子機序解明と臨床応用	山下奈真	第二外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
144	動脈硬化性病変における色素上皮由来因子(PEADF)の機能解析	久良木亮一	第二外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
145	非ウイルス性肝炎の発症・進展におけるSIRT1遺伝子の役割と革新的治療法の探索	小西秀幸	第二外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
146	治療抵抗性肝細胞癌におけるﾏｲｸﾛRNAの機能解析と新規治療への展開	伊藤　心二	第二外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
147	食道癌における宿主免疫回避の分子機序の解明	中島　雄一郎	第二外科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
148	肝脾相関のメカニズムの解明と脾機能抑制による肝硬変症に対する革新的治療法の開発	川中　博文	第二外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
149	多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	前原喜彦	第二外科	4800 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(肝炎等克服実用化研究)
150	門脈血行異常症に関する調査研究	前原　喜彦（分担）	第二外科	70 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究))
151	腹腔内転移癌を対象としたHB-EGFを分子標的とするがん治療BK-UMの第2相試験	沖　英次（分担）	第二外科	1045 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業(革新的がん医療実用化研究事業)
152	B型肝炎ｳｲﾙｽの持続感染を再現する効率的な培養細胞評価系の開発に関する研究	調　憲（分担）	第二外科	500 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)
153	がん化学療法及び免疫抑制療法中のB型肝炎ｳｲﾙｽ再活性化予防対策法の確立を目指したｳｲﾙｽ要因と宿主要因の包括的研究	調　憲（分担）	第二外科	100 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)
154	消化器癌のDNA修復系遺伝子解析による抗癌剤高感受性群の同定と個別化治療の展開	前原　喜彦（分担）	第二外科	6.5 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
155	喫煙・飲酒による食道癌発癌における癌抑制遺伝子異常の機序解明と治療戦略の構築	沖　英次（分担）	第二外科	6.5 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
156	Open MRIを用いた高精度消化器癌リンパ節ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ手術ｼｽﾃﾑの開発	池田　哲夫（分担）	第二外科	10 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
157	がん薬物療法に関する革新的治療法に対する研究助成	沖　　英次	第二外科	300 万円	補	公益財団法人　小林がん学術振興会
158	悪性胸膜中皮腫に対する新規治療法の開発	諸富　洋介	第二外科	20 万円	補	公益財団法人　西日本奨学会
159	悪性胸膜中皮腫の微小環境の特性を標的とした革新的治療法の開発	諸富　洋介	第二外科	30 万円	補	公益財団法人 福岡県すこやか健康事業団
160	治療抵抗性肝細胞癌における炎症性微小環境の役割とマイクロRNAの機能解析および新規治療への展開	武石　一樹	第二外科	30 万円	補	公益財団法人 福岡県すこやか健康事業団
161	食道癌における宿主免疫回避の分子機序解明	中島　雄一郎	第二外科	10 万円	補	公益財団法人 福岡県すこやか健康事業団
162	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	岩本　幸英	整形外科	3,000 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(革新的がん医療実用化研究)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
163	特発性大腿骨頭壊死症の治療法確立と革新的予防法開発にむけた全国学際研究	岩本　幸英	整形外科	3,800 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等実用化研究(難治性疾患実用化研究))
164	悪性骨軟部腫瘍における薬剤耐性獲得機構の解明	岩本　幸英	整形外科	325 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
165	臼蓋後捻は変形性股関節症の発生要因になりうる　－形態学的および生体力学的検討－	中島　康晴	整形外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
166	骨粗鬆症性軟骨下脆弱性骨折による関節破壊のメカニズムの解析	山本　卓明	整形外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
167	高密度スキャフォールドフリー脂肪由来幹細胞構造体を用いた骨軟骨組織再生の探索的臨床研究	岡崎　賢	整形外科	5,100 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野(再生医療実用化研究)
168	軟骨肉腫幹細胞に注目した、新規軟骨肉腫治療法の開発	松本　嘉寛	整形外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
169	骨・関節発生および骨代謝におけるTGFベータI型受容体の役割の解析	松延　知哉	整形外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
170	大腿骨頭壊死症における骨頭圧潰メカニズムの解明	本村　悟朗	整形外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
171	骨形成能をもった未熟細胞に着目した骨損傷治癒のメカニズムに関する研究	大石　正信	整形外科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
172	ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤SAHAのオートファジー細胞死誘導機構の解析	岡田　貴充	整形外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
173	人工膝関節置換術術後動態解析のコンピュータシミュレーションによる実現化	水内　秀城	整形外科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
174	関節軟骨変性過程におけるC/EBPbetaを中心とした遺伝子発現解析	林田　光正	整形外科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
175	X線動画像とCT、CADモデルを用いた股関節の三次元動態解析	濱井　敏	整形外科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
176	悪性末梢神経鞘腫瘍の高悪性化機序の解明を基盤とした新規薬物治療の開発	遠藤　誠	整形外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
177	関節リウマチ病態におけるC型レクチンの役割	小山田　亜希子	整形外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
178	脳卒中急性期医療の地域格差の可視化と縮小に関する研究	飯原　弘二	脳神経外科	425 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究)
179	脳卒中後遺症の低減に向けた汎用性の高い革新的治療法の開発	飯原　弘二	脳神経外科	1,923 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究)
180	DPC情報を用いた脳卒中大規模データベースによるベンチマーキングに関する研究	飯原　弘二	脳神経外科	351 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
181	腫瘍幹細胞由来エクソソーム解析による脳腫瘍形成機序解明と新規診断・治療法の開発	溝口　昌弘	脳神経外科	520 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
182	分泌型microRNAによる脳血管攣縮機構の解明と新規バイオマーカーの同定	溝口　昌弘	脳神経外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
183	microRNAをターゲットとした間葉系幹細胞による神経膠芽腫浸潤抑制療法の開発	中溝　玲	脳神経外科	754 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
184	トランスクリプトーム解析を基盤にした膠芽腫形成の分子メカニズム解明と治療への応用	吉本　幸司	脳神経外科	481 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
185	ハイパースペクトルカメラを用いた可視光分光解析による術中脳虚血評価法の開発	村上　信哉	脳神経外科	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
186	日本人の人工弁置換術後における抗血小板療法の有効性および安全性に関する臨床研究	富永　隆治（分担）	心臓血管外科	19.5 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
187	WHOのチェックリストを用いた日本版「手術安全簡易評価システム」の開発と適応に関する研究	富永　隆治（分担）	心臓血管外科	280 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野 （地域医療基盤開発推進研究事業）
188	我が国の外科領域におけるノンテクニカル・スキル評価システムの構築	富永　隆治（分担）	心臓血管外科	19.5 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
189	ウサギの脊髄局所冷却による脊髄保護効果とオートファジーの関連	藤田　智	心臓血管外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
190	ヒルシュスプルング病および類縁疾患の乳歯歯髄幹細胞を用いた新規治療法の開発	田口　智章	小児外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
191	小児外科領域の難治性疾患における脱落乳歯幹細胞を用いた新規治療法の開発	田口　智章	小児外科	113 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究A）
192	小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	田口　智章	小児外科	2,477 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究))
193	ヒルシュスプルング病及び類縁疾患の幹細胞を用いた病因病態解明と新規治療法の開発	田口　智章	小児外科	3,500 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究))
194	脱落乳歯幹細胞を用いた立体肝組織移植による小児代謝性肝疾患根治療法の開発	田口　智章	小児外科	5,000 万円	補	橋渡し研究加速ネットワークプログラムシーズB
195	小児がん腫瘍幹細胞、循環腫瘍細胞ならびに微小転移細胞の細胞生物学的特性	田口　智章（分担）	小児外科	75 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
196	先天性消化管閉塞性疾患における好酸球性炎症の検討	田口　智章（分担）	小児外科	10 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
197	難治性神経芽腫に対するIL2、CSF併用ch14.18免疫療法の国内臨床開発	田口　智章（分担）	小児外科	200 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(がん対策推進総合研究)
198	小児期発症の希少性肝胆膵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	田口　智章（分担）	小児外科	20 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究))

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
199	難治性神経芽腫に対する分化誘導療法併用下でのエピジェネティック治療開発	田口 智章(分担)	小児外科	200 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(革新的がん医療実用化研究)
200	身体障害者の認定基準の今後のあり方に関する研究.	田口 智章(分担)	小児外科	150 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(障害者対策総合研究)
201	統合的ゲノムスキャニングによる難治性小児固形腫瘍の新規標的分子の探索	田口 智章(分担)	小児外科	45.4 万円	委	文部科学省科学研究費 次世代がん研究推進プロジェクト
202	神経芽腫における標的分子の同定と分子情報データベースの作成(分担課題:神経芽腫遺伝子変異の網羅的解析と新規遺伝子を標的とする治療法の開発)	田口 智章(分担)	小児外科	30 万円	委	厚生労働省がん研究開発費
203	手術器具による視野遮蔽領域を補完する"死角なき"小児外科手術ロボットの開発	家入 里志	小児外科	455 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
204	共焦点内視鏡とスペクトロスコープによるHybrid消化管神経叢診断システムの確立	家入 里志	小児外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
205	先天性難治性稀少泌尿生殖器疾患群(総排泄遺残、総排泄外反、MRKH症候群)におけるスムーズな成人期医療移行のための分類・診断・治療ガイドライン作成	家入 里志(分担)	小児外科	30 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究))
206	キメリズム解析による胆道閉鎖症成因の解明	林田 真	小児外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
207	MYCNトランスジェニックマウスを用いた神経芽腫新規分子標的治療の開発	宗崎 良太	小児外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
208	先天性肝疾患に対する乳歯歯髄幹細胞を用いた肝立体構造体による新規治療法の開発	柳 佑典	小児外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
209	難治性小児悪性軟部腫瘍におけるFOXM1および関連蛋白発現と標的分子としての評価	久田 正昭	小児外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
210	進行神経芽腫モデルマウスを用いたSeV/DCによる新規免疫治療の開発	川久保 尚徳	小児外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
211	Alpha-fetoprotein(AFP)-L2分画による小児固形悪性腫瘍の新規診断システム開発	木下 義晶	小児外科	50 万円	補	がんの子どもを守る会 治療研究助成
212	小児の肉腫や脳腫瘍等に対するペプチドワクチン単剤療法の開発	木下 義晶(分担)	小児外科	100 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(がん対策推進総合研究)
213	難治性血管腫・血管奇形・リンパ管腫・リンパ管腫症および関連疾患についての調査研究	木下 義晶(分担)	小児外科	35 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究))
214	転移性肝芽腫に対する薬剤開発戦略としての国際共同臨床試験	宗崎 良太(分担)	小児外科	100 万円	委	厚生労働省医療技術実用化総合研究事業
215	小児肝移植におけるリンパ球及びその遊走因子の解析による免疫監視システムの開発	江角 元史郎	小児外科	120 万円	補	九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(P&P)
216	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	古江 増隆	皮膚科	16,912.4 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野(食品の安全確保推進研究)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
217	マウス悪性黒色腫発育早期の腫瘍浸潤樹状細胞の解析 －経時的変化とその意義－	中原 剛士	皮膚科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
218	エンドセリン変換酵素の掻痒に対する作用とそのメカニズムの解明	中原 真希子	皮膚科	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
219	腎・尿路性器癌の進展におけるストレス応答機構を標的とした治療法の開発	内藤 誠二	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
220	前立腺癌化学予防薬がアンドロゲンシグナルに及ぼす分子薬理学的機序の解析	横溝 晃	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
221	腎癌の癌化、増殖、浸潤におけるグリシンエヌメチルトランスフェラーゼの重要な役割	宋 裕賢	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
222	前立腺癌の上皮間葉転換と去勢抵抗性のクロストーク	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
223	膀胱がんに対する新たなBCG注入療法の開発	武内 在雄	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
224	下部尿路における平滑筋の新規収縮弛緩調節機構の解明とその臨床応用	梶岡 俊一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
225	統合失調症におけるミクログリア制御異常による白質・シナプス伝達障害の機構解明	神庭 重信	精神科神経科	1,365 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
226	うつ病の責任脳回路の系統的同定とニューロン・グリア傷害の実像解明	神庭 重信	精神科神経科	585 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
227	グリアアセンブリによる脳機発現の制御と病態	神庭 重信（分担）	精神科神経科	10 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
228	うつ病に関する学術研究動向調査研究	神庭 重信（分担）	精神科神経科	205 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(学術研究動向調査等に関する研究)
229	新たな治療戦略の構築のための神経疾患と精神疾患の垣根を越えた共通基盤の理解	神庭 重信	精神科神経科	250 万円	補	日本学術興振会 平成26年度二国間交流事業(共同研究・セミナー)
230	うつ病の病態を反映する血中バイオマーカーの開発・実用化研究	神庭 重信	精神科神経科	2,610.3 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(障害者対策総合研究)
231	地域高齢住民におけるうつ病の実態とその危険因子に関する横断・縦断研究	小原 知之	精神科神経科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
232	日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究	小原 知之	精神科神経科	1,260 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 行政政策研究分野(厚生労働科学特別研究)
233	久山町高齢者におけるMRIを基盤にした脳血管障害，認知症，うつ病の疫学研究	小原 知之（分担）	精神科神経科	200 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究A）
234	溜め込み障害と強迫性障害の臨床的および生物学的差異の検討	中尾 智博	精神科神経科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
235	統合失調症・双極性障害の神経生理学的鑑別方法の確立	鬼塚　俊明	精神科神経科	50 万円	補	統合失調症研究会　助成金
236	神経振動子の位相リセットによる音声コミュニケーション原理	上野　雄文（分担）	精神科神経科	150 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究A）
237	診療情報の意味論的解析を行う自律エージェントアルゴリズムの研究	上野　雄文（分担）	精神科神経科	12 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
238	社会機能的転帰評価尺度SLOF－日本語版の妥当性検討に関する研究	上野　雄文	精神科神経科	50 万円	補	公益財団法人精神・神経科学振興財団受託研究
239	抑うつ神経症における聴性定常反応(ASSR)γ帯域同期性機能活動と治療効果に関するfMRI研究	上野　雄文	精神科神経科	30 万円	補	公益財団法人　メンタルヘルス岡本記念財団 研究活動助成金
240	脳の形態画像解析と遺伝子多型解析による強迫性障害の病態，診断，治療研究	光安　博志	精神科神経科	28 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
241	精神疾患における神経グリア相関異常を解明するための再生医学技術を用いた橋渡し研究	加藤　隆弘	精神科神経科	624 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
242	脳内免疫細胞ミクログリアを介した人間の社会的意志決定プロセスの解明	加藤　隆弘	精神科神経科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
243	精神疾患患者早期介入のための医療従事者向け教育研修プログラムの開発―メンタルヘルス・ファーストエイドの応用	加藤　隆弘	精神科神経科	367.9 万円	補	厚生労働科学研究委託費　障害者対策総合研究開発事業(精神障害分野)
244	学術交流・文化交流・相互理解を促進するための「日韓両国の若手精神科医のための合同研修会」	加藤　隆弘	精神科神経科	70 万円	補	公益財団法人　メンタルヘルス岡本記念財団 研究活動助成金
245	サブリミナル顔刺激を用いた高機能自閉症スペクトラム障害の社会脳研究	前川　敏彦	精神科神経科	30 万円	補	公益財団法人　臨床医学振興財団助成金
246	気分障害における聴性定常反応（ASSR）のγ帯域同期性機能活動に関する脳画像研究	久我　弘典	精神科神経科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
247	統合失調症における聴性定常反応(ASSR)のγ帯域同期性機能活動に関するfMRI研究	久我　弘典	精神科神経科	50 万円	補	統合失調症研究会　助成金
248	日本国内外の各地域における災害精神医療に関する普及・啓発活動	久我　弘典	精神科神経科	60 万円	補	公益財団法人　メンタルヘルス岡本記念財団 研究活動助成金
249	ヒト体細胞由来ミクログリア作製法の確立と精神疾患研究への応用	扇谷　昌宏	精神科神経科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
250	気分障害患者由来誘導ミクログリア細胞を用いた病態・薬効評価システムの開発	扇谷　昌宏	精神科神経科	100 万円	補	公益財団法人　先進医薬研究振興財団 平成26年度第8回精神薬療分野若手研究者助成
251	双極性障害と神経オシレーション：聴覚定常脳磁場反応を用いた右半球特異的異常の解明	小田　祐子	精神科神経科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
252	統合失調症患者由来iN細胞を用いたマイクロエンドフェノタイプの同定と病態解明	佐方　功明	精神科神経科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
253	神経生理学検査による精神疾患の科学的診断及び治療評価方法の確立	土本　利架子	精神科神経科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
254	Working memoryと神経画像解析による強迫性障害の病態研究	村山　桂太郎	精神科神経科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
255	溜め込み癖（溜め込み強迫)に関する疫学調査及び治療的介入の試み	桑野　真澄	精神科神経科	40 万円	補	公益財団法人　メンタルヘルス岡本記念財団 研究活動助成金
256	網膜色素変性に対する視細胞保護遺伝子治療臨床研究～GCPに準拠した遺伝子治療臨床研究～	石橋　達朗	眼科	2,910 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野(医療技術実用総合研究)
257	新規ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ技術を用いた眼疾患に対する革新的核酸医薬品の開発	石橋　達朗	眼科	1,079 万円	補	独立行政法人科学技術振興機構(A-STEP)
258	ﾌﾞﾘﾘｱﾝﾄﾌﾞﾙｰG（BBG250）による内境界膜染色・剥離術	石橋　達朗	眼科	2,255 万円	補	公益社団法人　日本医師会 治験促進センター
259	個別化医療をめざした加齢黄斑変性に対するゲノム疫学研究	石橋　達朗	眼科	1,118 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究Ａ）
260	遺伝子改変マウスを用いた糖尿病黄斑浮腫の臨床応用可能な治療法の開発	石橋　達朗（分担）	眼科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
261	SHG顕微鏡による増殖性網膜疾患新規病因タンパクの効率的スクリーニング	石橋　達朗（分担）	眼科	10 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
262	増殖組織特徴的遺伝子を標的とした革新的眼内増殖抑制治療戦略の体系的構築	吉田　茂生	眼科	858 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
263	ペリオスチンを標的とした増殖性網膜硝子体疾患に対する革新的人工抗体の創製	吉田　茂生	眼科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
264	加齢黄斑変性に対するQOL向上をめざした個別化治療の研究	大島　裕司	眼科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
265	緑内障モデル動物を用いた網膜神経節細胞保護遺伝子治療	池田　康博	眼科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
266	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	池田　康博（分担）	眼科	50 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究))
267	網脈絡膜疾患に対するﾘﾝﾊﾟ管をターゲットとした新しい治療戦略	中尾　新太郎	眼科	351 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
268	視覚障害を及ぼす眼窩疾患の危険因子および予防因子の解明：久山町研究	安田　美穂	眼科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
269	加齢黄斑変性における能動的ネクローシスの役割	村上　祐介	眼科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
270	網膜色素変性患者における視細胞ネクローシスの関与の解明	村上　祐介	眼科	200 万円	補	公益財団法人　難病医学研究財団助成金

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
271	網膜色素変性における慢性炎症機構の解明と新たな治療戦略の確立	吉田　倫子	眼科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
272	糖尿病網膜血管透過性亢進に対する病態解明と新しい治療戦略	有田　量一	眼科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
273	増殖組織特徴遺伝子ペリオスチンを標的とした網脈絡膜線維血管増殖組織治療薬開発	中間　崇仁	眼科	90 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(特別研究員奨励費)
274	成人先天性心疾患のシネタギングMRIによる右室ストレインと心臓同期不全解析の開発	長尾　充展	放射線科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
275	根治的放射線治療後再発食道癌に対する高精度放射線治療技術を用いた臨床試験	佐々木　智成	放射線科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
276	CESTを用いた骨盤内腫瘍の悪性度、治療効果、患者予後を推定する画像診断法の確立	西江　昭弘	放射線科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
277	CESTに基づく脳腫瘍のMR分子イメージング法の開発と臨床応用	栂尾　理	放射線科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
278	近似症例検索エンジンを用いた放射線治療計画支援システムの開発	吉武　忠正	放射線科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
279	肝機能および肝線維化のMRIを用いた形態-機能融合診断の確立	高山　幸久	放射線科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
280	CTコロノグラフィーの半定量的側面像解析を用いた新たな大腸癌深達度診断法の確立	宮坂　光俊	放射線科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
281	MRI微小灌流・拡散定量による脳腫瘍診断への包括的アプローチ	山下　孝二	放射線科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
282	Gd-EOB-DTPA造影MRIを用いた肝細胞癌の抗癌剤耐性の画像的評価法の確立	藤田　展宏	放射線科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
283	PET/MR装置による心サルコイドーシスのステロイド治療効果予測	丸岡　保博	放射線科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
284	ASL法を用いた非造影MR灌流画像による移植腎の血流評価と臨床応用	西牟田　雄祐	放射線科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
285	胃、大腸癌における生体内動脈性血行動態解析に基づく術後転移予測指標の確立	古森　正宏	放射線科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
286	急性肝不全に対するファルネシルトランスフェラーゼ阻害薬の保護効果の検討	白水　和宏	麻酔科蘇生科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
287	がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動(J-MICC)	古庄　憲浩	総合診療科	900 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（新学術領域研究（研究領域提案型））
288	生検サンプルを必要としない血液を用いたミトコンドリア異常症の統合的検査法開発	康 東天	検査部	1,521 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究Ａ）

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
289	アルツハイマー病とミトコンドリアDNA多型の大規模解析	康 東天	検査部	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
290	「拠点病院における地域医療情報との連携に向けた課題の整理と実効性の検証・運用維持に関する研究-地域医療情報の現状と課題、ならびに標準化作業におけるコスト評価-」	康 東天	検査部	4,300 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野(医薬品等規制調和・評価研究)
291	MID-NETを用いた医薬品等のベネフィット・リスク評価のための薬剤疫学研究等の実践的な分析手法及び教育に関する研究	康 東天	検査部	2,300 万円	委	厚生労働科学研究委託事業
292	ミトコンドリアRNAシャペロンp32の分子基盤と病態解析	内海 健	検査部	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
293	ミトコンドリア病遺伝子診断キットの開発を目的とした網羅的病因遺伝子検索法の開発	松島 雄一	検査部	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
294	肝臓病におけるp32遺伝子の役割	後藤 和人	検査部	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
295	HABP1の機能解析と神経変性疾患診断への応用	松本 信也	検査部	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
296	老化機序の鍵を握る、核構造と代謝ネットワーク相互作用の解明	瀬戸山 大樹	検査部	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
297	大脳白質脳症疾患モデルマウスの病態解析と病因関連代謝物の探索	八木 美佳子	検査部	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
298	哺乳動物ミトコンドリアゲノムの複製に関与するタンパク質因子の探索	安川 武宏	検査部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
299	マイトファジー誘導機序の解明とその臨床検査への応用	青木 義政	検査部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
300	神経回路形成におけるSlitシグナリングの分子基盤の解明	河田 純一	検査部	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
301	超高速三次元計測小型カメラによる高精度放射線治療位置認識システムの開発	中村 和正	放射線部	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
302	ヨード123全身シンチグラムを用いたヨード治療適応評価の有用性に関する研究	馬場 眞吾	放射線部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
303	新しい高分解能拡散強調像を用いた頭蓋内及び頭頸部病変の診断法の開発	樋渡 昭雄	放射線部	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
304	急性肝不全・劇症肝炎に対する硫化水素の肝保護作用	徳田賢太郎	集中治療部	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
305	転座関連および非転座関連悪性軟部腫瘍における分子標的の網羅的探索	小田 義直	病理診断科・病理部	338 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
306	胃腸管間質腫瘍における低酸素応答関連分子異常の臨床病理学的意義に関する研究	山元 英崇	病理診断科・病理部	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
307	網羅的遺伝子解析に基づいた子宮内膜癌の病理形態所見の解明	大石 善丈	病理診断科・病理部	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
308	軟部肉腫におけるSWI/SNF型クロマチン再構成因子発現および治療への応用	孝橋 賢一	病理診断科・病理部	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
309	膵癌間質相互作用に寄与する膵星細胞の道程と特異的分子標的治療の開発	進藤 幸治	病理診断科・病理部	117 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（特別研究員奨励費）
310	分子イメージング法の開発を目指した膵癌における神経浸潤に関わる因子の網羅的解析	水内 祐介	病理診断科・病理部	100 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（特別研究員奨励費）
311	BCR－ABL陽性白血病に対する新たな治療標的分子の同定	岩﨑 浩己	遺伝子・細胞療法部	494 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
312	3次元イメージングによる骨髄造血幹細胞ニッチの同定	國﨑 祐哉	遺伝子・細胞療法部	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
313	造血幹細胞の運命決定における異なる血管性ニッチの役割の解明	國﨑 祐哉	遺伝子・細胞療法部	300 万円	委	公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団 助成金
314	白血病幹細胞ニッチの同定とそれを標的とした新しい癌治療法の開発	國﨑 祐哉	遺伝子・細胞療法部	40 万円	委	公益財団法人 臨床医学振興財団 助成金
315	3次元イメージングによる造血幹細胞ニッチの同定	國﨑 祐哉	遺伝子・細胞療法部	300 万円	委	公益財団法人 内藤記念科学振興財団 助成金
316	白血病幹細胞ニッチの同定とニッチを標的にした新たな治療法の開発	國﨑 祐哉	遺伝子・細胞療法部	150 万円	委	公益財団法人 東京生化学研究会 助成金
317	3次元イメージング技術による白血病幹細胞ニッチの同定	國﨑 祐哉	遺伝子・細胞療法部	200 万円	委	高松宮妃癌研究基金研究助成金
318	ヒト胎盤形成期の絨毛細胞虚血再潅流障害の病的意義に関する研究	福嶋 恒太郎	総合周産期母子医療センター	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
319	脱細胞化肺移植による先天性横隔膜ヘルニアの低形成肺に対する再生医療	永田 公二	総合周産期母子医療センター	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
320	小児呼吸器形成異常・低形成疾患に関する実態調査ならびに診療ガイドライン作成に関する研究	田口 智章	総合周産期母子医療センター	150 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究))
321	NICU高照度環境が及ぼす早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達の前方視的研究	木下 義晶	総合周産期母子医療センター	3 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
322	低出席体重児消化管機能障害の疾患懸念確立にむけた疫学調査研究	永田 公二	総合周産期母子医療センター	5 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究))
323	高齢者向けロコモ対策用ゲームの開発を通したゲームデザイン研究	高杉紳一郎（分担）	リハビリテーション部	1,560 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究Ａ）
324	軽量で柔軟な装着型歩行アシストスーツに関する研究	高杉紳一郎（分担）	リハビリテーション部	4,157 万円	補	研究成果最適展開支援プログラムA-STEP(JST,文科省)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
325	病院情報システムのデータを利用した薬剤市販後調査の効率化に関する研究	中島　直樹（分担）	メディカル・インフォメーションセンター	90 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野(地域医療基盤開発推進研究)
326	処方箋の電子化に伴う情報連携情報利活用プライバシー保護のあり方に関する調査研究	中島　直樹（分担）	メディカル・インフォメーションセンター	100 万円	補	厚生労働省　地域医療基盤開発推進研究事業
327	医薬品等の市販後安全対策のための医療情報データベースの利活用方法に関する薬剤疫学研究	中島　直樹（分担）	メディカル・インフォメーションセンター	70 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野(医薬品等規制調和・評価研究)
328	データヘルス計画と連携した糖尿病リモート医療	中島　直樹（分担）	メディカル・インフォメーションセンター	150 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野(医療機器開発推進研究)
329	ソーシャル・ビッグデータ利活用アプリケーションの研究開発	中島　直樹	メディカル・インフォメーションセンター	153 万円	委	独立行政法人情報通信研究機構 高度通信・放送研究開発委託研究
330	医療情報データベース分析手法高度化のためのデータ検証（バリデーション）事業	中島　直樹	メディカル・インフォメーションセンター	1,514 万円	委	厚生労働省　医療情報データベース基盤整備事業
331	学術用超高速インターネットを利用した遠隔医療ネットワークの世界展開	清水　周次	光学医療診療部	819 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究A）
332	診断・治療のための穿刺支援ロボットシステムの開発	橋爪　誠	先端医工学診療部	300 万円	補	JST科学技術振興機構
333	強化された画像誘導と革新的ロボット技術の融合による画期的低侵襲治療システムの開発	富川　盛雅	先端医工学診療部	290 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
334	入院患者における 睡眠呼吸障害の症状を考慮した転倒リスク評価指標の開発	大草 知子　他	ARO次世代医療センター	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
335	mTOR阻害薬の非侵襲薬効評価系としての尿中LC3定量評価システムの開発	増田　智先	薬剤部	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
336	うつおよび糖尿病を考慮したがん治療における疼痛制御に関する薬理学的研究	江頭　伸昭	薬剤部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
337	オキサリプラチンによる末梢神経障害性疼痛の新規治療ターゲットの探索	川尻　雄大	薬剤部	174 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
338	高血圧症における生体内鉄代謝機構変化の分子機序解明と治療法への応用	田島　壮一郎	薬剤部	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
339	新生児・小児患者におけるテイコプラニン高濃度トラフ値の安全性に関する検討	村岡　香代子	薬剤部	40 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
340	NICU病棟における薬剤関連インシデント発生要因の解析と対策法の構築	若杉　陽子	薬剤部	40 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
341	肺癌治療における経口分子標的薬の効果・副作用に影響を及ぼす因子の解明	山本　千鶴子	薬剤部	60 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
342	がん骨転移治療におけるゾレドロン酸誘発腎障害回避に向けた薬学的介入の評価	池末　裕明	薬剤部	60 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
343	双極性障害患者におけるラモトリギン誘発皮膚障害のリスク因子の解明	有村　洋平	薬剤部	40 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
344	糖尿病療養指導における患者理解度の客観的評価および情報共有化の推進に向けた検討	村上　裕子	薬剤部	40 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
345	造血幹細胞移植におけるタクロリムスの投与経路変更時の血中濃度変動要因の解明	末次　王卓	薬剤部	60 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
346	ニカルジピン持続投与による静脈炎発現に対する薬学的介入の有用性評価	山内　結衣	薬剤部	40 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
347	「薬名違い」における調剤過誤の解析と患者影響度との関係	辻　敏和	薬剤部	40 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
348	酸化ストレスによる尿細管機能低下と薬剤性腎障害の進展機序に関する研究	矢野　貴久	薬剤部	100 万円	補	公益財団法人　中富健康科学振興財団　助成金
349	腎機能別ビスホスホネート薬剤の使用法確立	池末　裕明	薬剤部	200 万円	補	公益財団法人　臨床薬理財団　助成金
350	ダウン症における睡眠呼吸障害に関する調査	安藤　眞一	睡眠時無呼吸センター	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
351	簡便で非侵襲的な覚醒中の口輪筋トレーニングによる、閉塞性睡眠時無呼吸の治療法確立	西坂　麻里	睡眠時無呼吸センター	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
352	睡眠時無呼吸患者の血管内皮障害及び早期腎障害マーカとしてのNgalの確立	吉村　力	睡眠時無呼吸センター	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
353	孫が祖父母を救う	野中　和明	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
354	早老症をモデルとした老化制御機構の解明に関する小児歯科的アプローチ	山座　治義	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
355	ミトコンンドリアの形態変化と口腔顎顔面組織発生との関係解明	増田　啓次	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
356	顎関節の器官構築に向けた3次元器官培養法の開発	高橋　一郎	矯正歯科	351 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
357	顎変形症患者におけるmfMRIを用いた咀嚼筋疲労の分子イメージング	北原　亨	矯正歯科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
358	神経管近傍頭部神経堤細胞に着目した“歯を作る細胞”の探索	吉崎　恵悟	矯正歯科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
359	歯根膜細胞由来のiPS細胞の作製と歯根膜組織再生法の開発	赤峰　昭文	歯内治療科	377 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
360	歯肉線維芽細胞由来ヒトiPS細胞を用いた新たな歯根膜組織誘導ストラテジー	赤峰　昭文	歯内治療科	260 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
361	歯根膜組織形成能を有したバイオアクティブレジンの開発	前田　英史	歯内治療科	416 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
362	カルシウム感知受容体制御に着目した象牙質修復治療法の開発	前田　英史	歯内治療科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
363	新規覆髄材の開発を目的としたβigh-3の解析	門野内 聡	歯内治療科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
364	臓器固有細胞―浸潤炎症細胞間相互作用から捉える歯周医学の分子基盤	西村　英紀	歯周病科	377 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
365	歯髄細胞由来TNF誘導因子(DPTIF)受容体の探索研究	西村　英紀	歯周病科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
366	M2マクロファージ転換技術を応用した新規歯周組織再生療法の開発	讃井　彰一	歯周病科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
367	脂質メディエーターによる間葉系幹細胞分化機構の解明と硬組織再生治療への臨床的展開	松崎　英津子	歯周病科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
368	新規アメロジェニン会合蛋白の分子基盤構築による歯周組織再生の創薬標的分子の同定	福田　隆男	歯周病科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
369	急性炎症の惹起及び収束に関与するエイコサノイドが骨芽細胞に及ぼす影響	平塚　俊志	歯周病科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
370	歯根膜遊走の誘導技術を応用した次世代歯周組織再生治療法の構築	田中　麗	歯周病科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
371	SK-0403によるDPP4阻害を媒介した抗炎症作用の分子機序の解明	新城　尊徳	歯周病科	130 万円	委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
372	抗腫瘍T細胞を利用した口腔癌の早期診断法およびオーダーメイド免疫療法の開発	中村　誠司	顎口腔外科	299 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
373	IgG4 関連疾患の診断における唾液腺検査の有用性の検討	中村　誠司	顎口腔外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
374	IgG4関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究	中村　誠司	顎口腔外科	50 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究))
375	IgG4関連疾患の病因病態解明と新規治療法確立に関する研究	中村　誠司	顎口腔外科	120 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等実用化研究(難治性疾患実用化研究))
376	自己免疫疾患に関する調査研究	中村　誠司	顎口腔外科	50 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究))
377	自己免疫疾患のイノベーション研究	中村　誠司	顎口腔外科	50 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(難治性疾患等実用化研究(難治性疾患実用化研究))
378	口腔がん治療により生じる口腔細菌叢の量的・質的変化の次世代シーケンサーによる解析	大部　一成	顎口腔外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
379	上皮間葉転換による口腔癌の浸潤・転移機構の解明 -特にZEB1,2に着目して-	川野　真太郎	顎口腔外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
380	口腔扁平苔癬の病態形成に関わる免疫細胞ネットワークの解析	林田　淳之介	顎口腔外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
381	口腔癌に発現する新規バイオマーカーRCAS1の機能解析と臨床応用	豊嶋　健史	顎口腔外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
382	新疾患概念「IgG4関連疾患」の病態解明に向けた自然免疫からの新戦略	森山　雅文	顎口腔外科	468 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
383	LH-PCR法と次世代シーケンサーを用いた口腔カンジダ症の新たな診断方法の確立	森山　雅文	顎口腔外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
384	ミクリッツ病／IgG4関連疾患の病態解明および新規分子治療の開発	森山　雅文	顎口腔外科	200 万円	補	公益財団法人　武田科学振興財団医学系奨励
385	IgG4関連疾患の新規標的分子の同定 －DNAマイクロアレイによる発現変動遺伝子の網羅的解析－	森山　雅文	顎口腔外科	50 万円	補	公益財団法人　臨床研究奨励基金臨床研究助成
386	口腔扁平上皮癌の増殖・転移における腫瘍随伴性マクロファージの関与	森山　雅文	顎口腔外科	10 万円	補	公益財団法人 福岡県すこやか健康事業団　がん研究助成金
387	口蓋裂患者の語音弁別能と音響分析の関連性について	辻口　友美	顎口腔外科	52 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
388	粘膜類天疱瘡とBP180 C末端部との関連検討および新規診断法への応用	安河内　篤	顎口腔外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
389	口唇裂口蓋裂発症の候補遺伝子群における関連解析を用いた遺伝的要因の究明	新井　伸作	顎口腔外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
390	MAPK経路を介した口蓋突起挙上制御機構の解明	松村　香織	顎口腔外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
391	HTLV-1関連シェーグレン症候群の病態形成におけるヘルパーT細胞の関与	田中　昭彦	顎口腔外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
392	ΔNp63による上皮一間葉転換を介した口腔扁平上皮癌の発生および悪性化機構の解明	松原　良太	顎口腔外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
393	口腔扁平上皮癌新規治療法の確立～サイトケラチン17発現機序の検索～	北村　亮二	顎口腔外科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
394	IgG4関連疾患の病態解明に向けた免疫学的研究—異所性胚中心形成とTh細胞—	前原　隆	顎口腔外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
395	ミクリッツ病(MD)の病態形成におけるM2マクロファージの関与に関する研究	前原　隆	顎口腔外科	20 万円	委	特例財団法人　臨床医学振興財団医学研究資金助成
396	口腔扁平上皮癌におけるΔNp63を介した上皮-間葉転換の浸潤・転移における役割	後藤　雄一	顎口腔外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（万円）	補助元又は委託元	
397	完全連通構造を有する海綿骨形態の β TCP フォームの創製	二階堂　太郎	顎口腔外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
398	顎矯正手術による顎位変化は頭位・姿勢・歩行に変化をもたらすか	森　悦秀	顔面口腔外科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
399	組織幹細胞を用いたドライマウスの新しい医療法の開発	大山　順子	顔面口腔外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
400	骨再生への新しいアプローチ　ー炭酸リチウム局所投与が骨形成促進に与える影響ー	佐々木　匡理	顔面口腔外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
401	本邦におけるOSAS患者に対する上下顎同時前方移動術の適応基準の確率	中野　旬之	顔面口腔外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
402	唾液腺癌における抗癌耐性分子機構の解明と新規分子標的治療薬の開発	小野田　慈美	顔面口腔外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
403	唐辛子辛味成分カプサイシン受容体の遺伝子多型と口腔疼痛症候との関連	吉住　潤子	顔面口腔外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
404	癌転移抑制因子CD82の癌転移抑制機構の解析と治療への応用	千北　さとみ	顔面口腔外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
405	近赤外線、MRI、超音波を用いたシェーグレン症候群の非侵襲的画像診断法の確立	清水　真弓	口腔画像診断科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
406	MRIによる頭頸部病変のpermeability及びperfusionの総合評価	筑井　徹	口腔画像診断科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
407	頭頸部触診シミュレーションシステムの開発	岡村　和俊	口腔画像診断科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
408	DTTおよびASLを用いた摂食時における脳内活動ネットワークシステムの探索	加美　由紀子	口腔画像診断科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
409	セマフォリン3Aと歯髄幹細胞を用いた新規象牙質/歯髄複合体再生直接覆髄法の開発	和田　尚久	口腔総合診療科	110 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)

合計　409 件

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
1	伊藤 能清	第一内科	Characteristics of patients with development of large granular lymphocyte expansion among dasatinib-treated patients with relapsed Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia after allogeneic stem cell transplantation.	Clin Lymphoma Myeloma Leuk. 2015 Mar;15(3):e47-54.
2	加藤 光次	第一内科	Long-term remission after high-dose chemotherapy followed by auto-SCT as consolidation for intravascular large B-cell lymphoma.	Bone Marrow Transplant. 2014 Dec;49(12):1543-4.
3	加藤 光次	第一内科	Treatment of patients with adult T cell leukemia/lymphoma with cord blood transplantation: a Japanese nationwide retrospective survey.	Biol Blood Marrow Transplant. 2014 Dec;20(12):1968-74.
4	島 隆弘	第一内科	The ordered acquisition of Class II and Class I mutations directs formation of human t(8;21) acute myelogenous leukemia stem cell.	Exp Hematol. 2014 Nov;42(11):955-65.e1-5.
5	米川 晶子	第一内科	Dectin-2 is a direct receptor for mannose-capped lipoarabinomannan of mycobacteria.	Immunity. 2014 Sep 18;41(3):402-13.
6	Wang AY	第二内科	Angiotensin-converting enzyme inhibitor usage and acute kidney injury: a secondary analysis of RENAL study outcomes.	Nephrology (Carlton). 2014 Oct;19(10):617-22.
7	Wang AY	第二内科	Effect of hemodiafiltration or hemofiltration compared with hemodialysis on mortality and cardiovascular disease in chronic kidney failure: a systematic review and meta-analysis of randomized trials.	Am J Kidney Dis. 2014 Jun;63(6):968-78.
8	今村 剛	第二内科	Non-high-density lipoprotein cholesterol and the development of coronary heart disease and stroke subtypes in a general Japanese population: the Hisayama Study.	Atherosclerosis:2014 Apr;233(2):343-348.
9	江﨑 幹宏	第二内科	Use of capsule endoscopy in patients with Crohn's disease in Japan: a multicenter survey.	J Gastroenterol Hepatol 29:96-101, 2014
10	江里口 雅弘	第二内科	Renal denervation has blood pressure-independent protective effects on kidney and heart in a rat model of chronic kidney disease.	Kidney Int. 2015 Jan;87(1):116-27.
11	小澤 未央	第二内科	Milk and dairy consumption and risk of dementia in an elderly Japanese population: the Hisayama Study	J Am Geriatr Soc. 2014 Jul;62(7):1224-30.
12	海津 梓奈子	第二内科	Impact of leisure-time physical activity on glycemic control and cardiovascular risk factors in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: the Fukuoka Diabetes Registry.	PLoS One. 2014 Jun 4;9(6):e98768.
13	桑城 貴弘	第二内科	Significance of plasma adiponectin for diagnosis, neurological severity and functional outcome in ischemic stroke - Research for Biomarkers in Ischemic Stroke (REBIOS).	Metabolism. 2014 Sep;63(9):1093-103.
14	小嶋 巌	第二内科	A low ankle brachial index is associated with an increased risk of cardiovascular disease: the Hisayama study.	J Atheroscler Thromb. 2014;21(9):966-73.
15	竹内 研時	第二内科	Risk factors for reduced salivary flow rate in a Japanese population: the Hisayama Study.	Biomed Res Int. 2015;2015:381821.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
16	竹下 徹	第二内科	Distinct composition of the oral indigenous microbiota in South Korean and Japanese adults.	Sci Rep. 2014 Nov 11;4:6990.
17	佃屋 剛	第二内科	Validation of a COPD screening questionnaire and establishment of diagnostic cut-points in a Japanese general population: the Hisayama study.	Allergol Int. 2015 Jan;64(1):49-53.
18	鶴屋 和彦	第二内科	Brain atrophy in peritoneal dialysis and CKD stages 3-5: a cross-sectional and longitudinal study.	Am J Kidney Dis. 2015 Feb;65(2):312-21.
19	鶴屋 和彦	第二内科	Cardiorenal syndrome in chronic kidney disease.	Curr Opin Nephrol Hypertens. 2015 Mar;24(2):154-62.
20	永田 豊	第二内科	Therapeutic strategy for Crohn's disease with a loss of response to infliximab: a single-center retrospective study.	Digestion. 2015;91(1):50-6
21	濱崎 英臣	第二内科	Down-regulation of MET in hippocampal neurons of Alzheimer's disease brains.	Neuropathology. 2014 Jun;34(3):284-90.
22	春山 直樹	第二内科	Improvement in spatial memory dysfunction by telmisartan through reduction of brain angiotensin II and oxidative stress in experimental uremic mice.	Life Sci. 2014 Sep 15;113(1-2):55-9.
23	春山 直樹	第二内科	Subclinical nephrosclerosis is linked to left ventricular hypertrophy independent of classical atherogenic factors.	Hypertens Res. 2014 May;37(5):472-7.
24	藤﨑 毅一郎	第二内科	Impact of combined losartan/hydrochlorothiazide on proteinuria in patients with chronic kidney disease and hypertension.	Hypertens Res. 2014 Nov;37(11):993-8.
25	堀尾 英治	第二内科	Role of endothelial cell-derived angptl2 in vascular inflammation leading to endothelial dysfunction and atherosclerosis progression.	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2014 Apr;34(4):790-800.
26	山田 俊輔	第二内科	Fibroblast growth factor 23, but not parathyroid hormone, is associated with urinary phosphate regulation in patients on peritoneal dialysis.	Ther Apher Dial. 2015 Feb;19(1):73-80.
27	山田 俊輔	第二内科	Phosphate overload directly induces systemic inflammation and malnutrition as well as vascular calcification in uremia.	Am J Physiol Renal Physiol. 2014 Jun 15;306(12):F1418-28.
28	山田 俊輔	第二内科	Relationship between residual renal function and serum fibroblast growth factor 23 in patients on peritoneal dialysis.	Ther Apher Dial. 2014 Oct;18(5):383-90.
29	吉冨 亮太	第二内科	Ankle-brachial blood pressure index predicts cardiovascular events and mortality in Japanese patients with chronic kidney disease not on dialysis.	Hypertens Res. 2014 Dec;37(12):1050-5.
30	脇坂 義信	第二内科	Plasma S100A12 is associated with functional outcome after ischemic stroke: Research for Biomarkers in Ischemic Stroke.	J Neurol Sci. 2014 May 15;340(1-2):75-9.
31	大隈 俊明	第二内科	Dose- and time-dependent association of smoking and its cessation with glycemic control and insulin resistance in male patients with type 2 diabetes mellitus: the Fukuoka Diabetes Registry.	PLoS One. 2015 Mar 30;10(3):e0122023.
32	大隈 俊明	第二内科	U-shaped association of sleep duration with metabolic syndrome and insulin resistance in patients with type 2 diabetes: the Fukuoka Diabetes Registry.	Metabolism. 2014 Apr;63(4):484-91.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
33	須藤 信行	心療内科	Microbiome, HPA axis and production of endocrine hormones in the gut.	Adv Exp Med Biol. 2014;817:177-94.
34	河合 啓介	心療内科	The outcome of treatment for anorexia nervosa inpatients who required urgent hospitalization.	Biopsychosoc Med. 2014 Sep 3;8:20.
35	上原 平	神経内科	Efficiency of a "small-world" brain network depends on consciousness level: a resting-state FMRI study.	Cereb Cortex. 2014 Jun;24(6):1529-39.
36	土井 光	神経内科	Distinct cytokine and T helper cell profiles between patients with multiple sclerosis who had or had not received interferon-beta.	Clin Exp Neuroimmunol 5: 321-327, 2014.
37	山﨑 亮	神経内科	Differential roles of microglia and monocytes in the inflamed central nervous system.	J Exp Med. 2014 Jul 28;211(8):1533-49.
38	山下 謙一郎	神経内科	Cerebral blood flow reduction associated with orientation for time in amnesic mild cognitive impairment and Alzheimer disease patients.	J Neuroimaging. 2014 Nov-Dec;24(6):590-4.
39	吉村 怜	神経内科	Genetic and infectious profiles influence cerebrospinal fluid IgG abnormality in Japanese multiple sclerosis patients.	PLoS One. 2014 Apr 15;9(4):e95367.
40	浅井(田尻)友香里	呼吸器科	Small interfering RNA against CD86 during allergen challenge blocks experimental allergic asthma.	Respir Res. 2014 Oct 27;15:132.
41	岡村 恭子	呼吸器科	PICT1 expression is a poor prognostic factor in non-small cell lung cancer.	Oncoscience. 2014 May 25;1(5):375-82.
42	岡本 勇	呼吸器科	Multiplex genomic profiling of non-small cell lung cancers from the LETS phase III trial of first-line S-1/carboplatin versus paclitaxel/carboplatin: results of a West Japan Oncology Group study.	Oncotarget. 2014 Apr 30;5(8):2293-304.
43	松元 幸一郎	呼吸器科	Prevalence of asthma with airflow limitation, COPD, and COPD with variable airflow limitation in older subjects in a general Japanese population: the Hisayama Study.	Respir Investig. 2015 Jan;53(1):22-9.
44	李 和顔	呼吸器科	Addition of bevacizumab enhances antitumor activity of erlotinib against non-small cell lung cancer xenografts depending on VEGF expression.	Cancer Chemother Pharmacol. 2014 Dec;74(6):1297-305.
45	園田 顕三	産科婦人科	A disintegrin and metalloproteinase 9 is involved in ectodomain shedding of receptor-binding cancer antigen expressed on SiSo cells.	Biomed Res Int. 2014;2014:482396.
46	永田　弾	小児科	Evaluation of echogenicity of the heart in Kawasaki disease.	Eur J Pediatr. 2014 Aug;173(8):1089-93.
47	山村 健一郎	小児科	Early progression of atherosclerosis in children with chronic infantile neurological cutaneous and articular syndrome.	Rheumatology (Oxford). 2014 Oct;53(10):1783-7.
48	酒井 康成	小児科	Testicular sex cord-stromal tumor in a boy with 2q37 deletion syndrome.	BMC Med Genomics. 2014 Apr 22;7:19.
49	神野 俊介	小児科	Activation of an innate immune receptor, Nod1, accelerates atherogenesis in Apoe-/- mice.	J Immunol. 2015 Jan 15;194(2):773-80.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
50	瀧本 智仁	小児科	Wiskott-Aldrich syndrome in a girl caused by heterozygous WASP mutation and extremely skewed X-chromosome inactivation: a novel association with maternal uniparental isodisomy 6.	Neonatology. 2015;107(3):185-90.
51	齋藤 光正	小児科	PCR and culture identification of pathogenic Leptospira spp. from coastal soil in Leyte, Philippines, after a storm surge during Super Typhoon Haiyan (Yolanda).	Appl Environ Microbiol. 2014 Nov;80(22):6926-32.
52	植木 隆	第一外科	A CpG island methylator phenotype of colorectal cancer that is contiguous with conventional adenomas, but not serrated polyps.	Oncol Lett. 2014 Nov;8(5):1937-1944.
53	上田 純二	第一外科	Short- and long-term results of the Frey procedure for chronic pancreatitis.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015 Mar;22(3):211-6.
54	大内田 研宙	第一外科	CD166/ALCAM expression is characteristic of tumorigenicity and invasive and migratory activities of pancreatic cancer cells.	PLoS One. 2014 Sep 15;9(9):e107247.
55	大内田 研宙	第一外科	Peritoneal myofibroblasts at metastatic foci promote dissemination of pancreatic cancer.	Int J Oncol. 2014 Jul;45(1):113-20.
56	大内田 研宙	第一外科	Podoplanin expression in the cyst wall correlates with the progression of intraductal papillary mucinous neoplasm.	Virchows Arch. 2014 Sep;465(3):265-73.
57	大塚 隆生	第一外科	"High-risk stigmata" of the 2012 international consensus guidelines correlate with the malignant grade of branch duct intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas.	Pancreas. 2014 Nov;43(8):1239-43.
58	大塚 隆生	第一外科	Analysis of risk factors for recurrence after curative resection of well-differentiated pancreatic neuroendocrine tumors based on the new grading classification.	J Hepatobiliary Pancreat Sci.21(6):418-425
59	大塚 隆生	第一外科	Elevated expression level of microRNA-196a is predictive of intestinal-type intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas.	Pancreas. 2014 Apr;43(3):361-6.
60	大塚 隆生	第一外科	Laparoscopic surgery is applicable for larger mucinous cystic neoplasms of the pancreas.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2014 May;21(5):343-8.
61	大塚 隆生	第一外科	Peroral pancreatoscopy using the SpyGlass system for the assessment of intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2014 Jun;21(6):410-7.
62	大塚 隆生	第一外科	Profiling of autoantibodies in sera of pancreatic cancer patients.	Ann Surg Oncol. 2014 Jun;21 Suppl 3:S459-65.
63	大塚 隆生	第一外科	Role of ERCP in the era of EUS-FNA for preoperative cytological confirmation of resectable pancreatic ductal adenocarcinoma.	Surg Today. 2014 Oct;44(10):1887-92.
64	大塚 隆生	第一外科	Role of pancreatic juice cytology in the preoperative management of intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas in the era of international consensus guidelines 2012.	World J Surg. 2014 Nov;38(11):2994-3001.
65	北田 秀久	第一外科	Early disappearance of urinary decoy cells in successfully treated polyomavirus BK nephropathy.	Transplant Proc. 2014;46(2):560-3.
66	北田 秀久	第一外科	Living-donor kidney transplant in T-cell and B-cell flow cytometry crossmatch-positive patients.	Exp Clin Transplant. 2014 Jun;12(3):227-32.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
67	北田 秀久	第一外科	Protocol biopsy findings in living donor kidney transplant patients treated with once-daily or twice-daily tacrolimus formulation.	Transplant Proc. 2014;46(2):395-9.
68	新海 健太郎	第一外科	Intraperitoneal administration of a tumor-associated antigen SART3, CD40L, and GM-CSF gene-loaded polyplex micelle elicits a vaccine effect in mouse tumor models.	PLoS One. 2014 Jul 11;9(7):e101854.
69	高畑 俊一	第一外科	Prediction of Pancreatic Fistula by Preoperatively Assessable Factors; Retrospective Review of Unified Operations by Single Surgeon.	Hepatogastroenterology. 2014 May;61(131):834-7.
70	田中 雅夫	第一外科	Thirty years of experience with intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas: from discovery to international consensus.	Digestion. 2014;90(4):265-72
71	仲田 興平	第一外科	Micro RNA-373 is down-regulated in pancreatic cancer and inhibits cancer cell invasion.	Ann Surg Oncol. 2014 Dec;21 Suppl 4:S564-74.
72	中村 勝也	第一外科	Combination of hepatocellular markers is useful for prognostication in gastric hepatoid adenocarcinoma.	Hum Pathol. 2014 Jun;45(6):1243-50.
73	中村 勝也	第一外科	Epidemiological trends of pancreatic and gastrointestinal neuroendocrine tumors in Japan: a nationwide survey analysis.	J Gastroenterol. 2015 Jan;50(1):58-64.
74	永吉 絹子	第一外科	Tumor deposit is a poor prognostic indicator for patients who have stage II and III colorectal cancer with fewer than 4 lymph node metastases but not for those with 4 or more.	Dis Colon Rectum. 2014 Apr;57(4):467-74.
75	服部 正見	第一外科	Pancreatic intraepithelial neoplasia in the background of invasive ductal carcinoma of the pancreas as a prognostic factor.	Histopathology. 2014 Sep;65(3):389-97.
76	安藤 幸滋	第二外科	Mortalin is a prognostic factor of gastric cancer with normal p53 function.	Gastric Cancer 2014 Apr;17(2):255-62
77	安藤 幸滋	第二外科	Simultaneous resection of colorectal cancer and liver metastases in the right lobe using pure laparoscopic surgery.	Surg Today.2014 Aug;44(8):1588-92
78	伊地知 秀樹	第二外科	Evaluation of graft stiffness using acoustic radiation force impulse imaging after living donor liver transplantation.	Clin Transplant. 2014 Nov;28(11):1256-62.
79	伊藤 修平	第二外科	Significance of preoperative evaluation of the right gastroepiploic artery graft to the coronary artery in patients undergoing abdominal surgery.	World J Surg. 2014 May;38(5):1051-7
80	伊藤 心二	第二外科	Effect of body composition on outcomes after hepatic resection for hepatocellular carcinoma.	Ann Surg Oncol. 2014 Sep;21(9):3063-8.
81	井田　智	第二外科	Surgical resection of hypopharynx and cervical esophageal cancer with a history of esophagectomy for thoracic esophageal cancer.	Ann Surg Oncol. 2014 Apr;21(4):1175-81.
82	井田　智	第二外科	Pure laparoscopic right-sided hepatectomy in the semi-prone position for synchronous colorectal cancer with liver metastases.	Asian J Endosc Surg. 2014 May;7(2):133-7
83	宇都宮 徹	第二外科	Specific miRNA expression profiles of non-tumor liver tissue predict a risk for recurrence of hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res. 2014 Jun;44(6):631-8.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
84	宇都宮 徹	第二外科	The role of Aurora B expression in non-tumor liver tissues of patients with hepatocellular carcinoma.	Int J Clin Oncol. 2014 Aug;19(4):622-8.
85	宇都宮 徹	第二外科	Specific molecular signatures of non-tumor liver tissue may predict a risk of hepatocarcinogenesis.	Cancer Sci2014 Jul;105(7):749-54.
86	岡本 龍郎	第二外科	The prognostic impact of the amount of tobacco smoking in non-small cell lung cancer--differences between adenocarcinoma and squamous cell carcinoma.	Lung Cancer. 2014 Aug;85(2):125-30.
87	沖　英次	第二外科	Phase II study of docetaxel and S-1 (DS) as neoadjuvant chemotherapy for clinical stage III resectable gastric cancer.	Ann Surg Oncol. 2014 Jul;21(7):2340-6.
88	沖　英次	第二外科	Book-binding technique for Billroth I anastomosis during totally laparoscopic distal gastrectomy.	J Am Coll Surg. 2014 Dec;219(6):e69-73.
89	河野 幹寛	第二外科	Prognostic and therapeutic implications of aromatase expression in lung adenocarcinomas with EGFR mutations.	Clin Cancer Res.2014 Jul 1;20(13):3613-22.
90	河野 浩幸	第二外科	Chromosomal instability associated with global DNA hypomethylation is associated with the initiation and progression of esophageal squamous cell carcinoma.	Ann Surg Oncol. 2014 Dec;21 Suppl 4:S696-702.
91	笠木 勇太	第二外科	Non-cirrhotic portal-systemic encephalopathy caused by enlargement of a splenorenal shunt after pancreaticoduodenectomy for locally advanced duodenal cancer: report of a case.	Surg Today.2014 Aug;44(8): 1573-6
92	萱島 寛人	第二外科	Three-dimensional computed tomography analysis of variations in the middle hepatic vein tributaries: proposed new classification.	Surg Today. 2014 Nov;44(11):2077-85.
93	間野 洋平	第二外科	Correlation between biological marker expression and fluorine-18 fluorodeoxyglucose uptake in hepatocellular carcinoma.	Am J Clin Pathol. 2014 Sep;142(3):391-7.
94	吉屋 匠平	第二外科	Portal vein thrombosis after hepatectomy.	World J Surg.2014 Jun;38(6):1491-7.
95	吉屋 匠平	第二外科	Fairly rare de novo inflammatory pseudotumor in a graft after living donor liver transplantation.	Liver Transpl. 2014 May;20(5):616-8.
96	吉屋 匠平	第二外科	Impact of epidermal growth factor single-nucleotide polymorphism on recurrence of hepatocellular carcinoma after hepatectomy in patients with chronic hepatitis C virus infection.	Cancer Sci. 2014 Jun;105(6):646-50.
97	吉住 朋晴	第二外科	Decreased immunoglobulin G levels after living-donor liver transplantation is a risk factor for bacterial infection and sepsis.	Transpl Infect Dis.2014 Apr;16(2):225-31.
98	吉住 朋晴	第二外科	Selection of a right posterior sector graft for living donor liver transplantation.	Liver Transpl. 2014 Sep;20(9):1089-96.
99	吉松 正憲	第二外科	A safe combined nephrectomy and right lobectomy using the liver hanging maneuver for huge renal cell carcinoma directly invading the right lobe of the liver: report of a case.	Surg Today.2014 Sep;44(9):1778-82.
100	吉田 佳弘	第二外科	rs8099917 and viral genotyping as indications for living donor liver transplantation for hepatitis C: a case report.	Transpl Proc2014 Sep;46(7):2426-9.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
101	久良木亮一	第二外科	Endovascular aneurysm repair for an abdominal aortic aneurysm and a left ruptured common iliac artery aneurysm in a patient with hepatocellular carcinoma: report of a case.	Surg Today(2014) 44:1548-1551
102	橋元　宏治	第二外科	Split liver transplantation using Hemiliver graft in the MELD era: a single center experience in the United States.	Am J Transplant2014 Sep;14(9):2072-80.
103	戸島　剛男	第二外科	Suppression of autophagy during liver regeneration impairs energy charge and hepatocyte senescence in mice.	Hepatology. 2014 Jul;60(1):290-300.
104	工藤　健介	第二外科	Cystic liver infection after living donor liver transplantation: a case report.	Case Rep Gastroenterol. 2014 May 14;8(2):169-74.
105	今井　大祐	第二外科	High-output heart failure due to post-traumatic peroneal arteriovenous fistula.	J Vasc Surg. 2014 Apr;59(4):1121-2.
106	今井　大祐	第二外科	Preemptive thoracic drainage to eradicate postoperative pulmonary complications after living donor liver transplantation.	J Am Coll Surg. 2014 Dec;219(6):1134-42.e2.
107	根東　順子	第二外科	Practical management and treatment of pancreatic neuroendocrine tumors.	Gland Surg. 2014 Nov;3(4):276-83.
108	佐伯　浩司	第二外科	Impact of second-line and later cetuximab-containing therapy and KRAS genotypes in patients with metastatic colorectal cancer: a multicenter study in Japan.	Surg Today. 2014 Aug;44(8):1457-64.
109	山下　洋市	第二外科	Trends in surgical results of hepatic resection for hepatocellular carcinoma: 1,000 consecutive cases over 20 years in a single institution.	Am J Surg. 2014 Jun;207(6):890-6.
110	山下　洋市	第二外科	Surgical outcomes of anatomical resection for solitary recurrent hepatocellular carcinoma.	Anticancer Res. 2014 Aug;34(8):4421-6.
111	山下　洋市	第二外科	Efficacy of postoperative anticoagulation therapy with enoxaparin for portal vein thrombosis after hepatic resection in patients with liver cancer.	Thromb Res. 2014 Oct;134(4):826-31.
112	山下　洋市	第二外科	Long-term favorable surgical results of laparoscopic hepatic resection for hepatocellular carcinoma in patients with cirrhosis: a single-center experience over a 10-year period.	J Am Coll Surg. 2014 Dec;219(6):1117-23.
113	山口　正史	第二外科	Current status of induction treatment for N2-Stage III non-small cell lung cancer.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2014 Nov;62(11):651-9.
114	山本　学	第二外科	CEA/CA72-4 levels in peritoneal lavage fluid are predictive factors in patients with gastric carcinoma.	J Cancer Res Clin Oncol. 2014 Apr;140(4):607-12.
115	枝川　真	第二外科	Role of activating transcription factor 3 (ATF3) in endoplasmic reticulum (ER) stress-induced sensitization of p53-deficient human colon cancer cells to tumor necrosis factor (TNF)-related apoptosis-inducing ligand (TRAIL)-mediated apoptosis through up-regulation of death receptor 5 (DR5) by zerumbone and celecoxib.	J Biol Chem. 2014 Aug 1;289(31):21544-61.
116	諸富　洋介	第二外科	Non-small cell lung cancer patients with EML4-ALK fusion gene are insensitive to cytotoxic chemotherapy.	Anticancer Res. 2014 Jul;34(7):3825-30.
117	諸富　洋介	第二外科	Application of continuous negative pressure irrigation and negative pressure fixation to treat a bronchopleural fistula with thoracic empyema.	J Am Coll Surg. 2014 May;218(5):e87-90.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
118	松田 大介	第二外科	Thrombotic microangiopathy caused by severe graft dysfunction after living donor liver transplantation: report of a case.	Clin J Gastroenterol. 2014 Apr;7(2):159-63.
119	上田 仁	第二外科	Chronic expanding hematoma of thorax extended to the neck.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2014;20 Suppl:535-8.
120	森﨑 浩一	第二外科	Recurrent brachial artery embolism caused by a crutch-induced axillary artery aneurysm: report of a case.	Surg Today. 2014 Jul;44(7):1355-8.
121	須田 健一	第二外科	The insulin-like growth factor 1 receptor causes acquired resistance to erlotinib in lung cancer cells with the wild-type epidermal growth factor receptor.	Int J Cancer. 2014 Aug 15;135(4):1002-6.
122	須田 健一	第二外科	CRKL amplification is rare as a mechanism for acquired resistance to kinase inhibitors in lung cancers with epidermal growth factor receptor mutation.	Lung Cancer. 2014 Aug;85(2):147-51.
123	須田 健一	第二外科	Prognostic implication of predominant histologic subtypes of lymph node metastases in surgically resected lung adenocarcinoma.	Biomed Res Int. 2014;2014:645681.
124	須田 健一	第二外科	Recent evidence, advances, and current practices in surgical treatment of lung cancer.	Respir Investig.2014 Nov;52(6):322-329.
125	西村 章	第二外科	Living donor liver transplantation followed by total gastrectomy--a two-stage planed operative strategy for early gastric cancer concomitant with decompensated liver cirrhosis.	Anticancer Res. 2014 Aug;34(8):4307-10.
126	川中 博文	第二外科	Effect of laparoscopic splenectomy on portal haemodynamics in patients with liver cirrhosis and portal hypertension.	Br J Surg. 2014 Nov;101(12):1585-93.
127	川中 博文	第二外科	Optimizing risk stratification in portal vein thrombosis after splenectomy and its primary prophylaxis with antithrombin III concentrates and danaparoid sodium in liver cirrhosis with portal hypertension.	J Am Coll Surg. 2014 Nov;219(5):865-74.
128	前田 貴司	第二外科	Minimally invasive image analysis of biliary-pancreatic structure for preoperative simulation.	Hepatogastroenterology. 2014 Sep;61(134):1744-7.
129	増田 隆伸	第二外科	Nuclear expression of chemokine receptor CXCR4 indicates poorer prognosis in gastric cancer.	Anticancer Res. 2014 Nov;34(11):6397-403.
130	太田 光彦	第二外科	Genetic suppression of inflammation blocks the tumor-promoting effects of TGF-β in gastric tissue.	Cancer Res. 2014 May 1;74(9):2642-51.
131	大峰 高広	第二外科	Successful Percutaneous Coil Embolization of a Ruptured Internal Iliac Artery Aneurysm Remnant after Abdominal Aortic Aneurysm Repair via the Deep Iliac Circumflex Artery.	Ann Vasc Dis. 2014;7(1):83-6.
132	池上 徹	第二外科	Frequent plasma cell hepatitis during telaprevir-based triple therapy for hepatitis C after liver transplantation.	J Hepatol. 2014 Apr;60(4):894-6.
133	池上 徹	第二外科	Clinical outcomes of living donor liver transplantation for patients 65 years old or older with preserved performance status.	Liver Transpl. 2014 Apr;20(4):408-15.
134	池上 徹	第二外科	Obstructing spontaneous major shunt vessels is or might not be mandatory in living donor liver transplantation: the authors' reply.	Transplantation. 2014 May 15;97(9):e53.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
135	池上　徹	第二外科	Reduced-dose telaprevir-based triple antiviral therapy for recurrent hepatitis C after living donor liver transplantation.	Transplantation. 2014 Nov 15;98(9):994-9.
136	池上　徹	第二外科	Small upper midline incision for living donor hemi-liver graft procurement in adults.	J Am Coll Surg. 2014 Sep;219(3):e39-43.
137	池上　徹	第二外科	Strategies to treat interferon-induced graft dysfunction after living donor liver transplantation for hepatitis C.	Hepatol Int. 2014 Apr;8(2):285-92.
138	池田　哲夫	第二外科	Laparoscopic liver resection in the semiprone position for tumors in the anterosuperior and posterior segments, using a novel dual-handling technique and bipolar irrigation system.	Surg Endosc. 2014 Aug;28(8):2484-92.
139	中島雄一郎	第二外科	Rectal cancer with disseminated carcinomatosis of the bone marrow: report of a case.	Int Surg. 2014 Sep-Oct;99(5):518-22..
140	調　憲	第二外科	New scoring system for prediction of microvascular invasion in patients with hepatocellular carcinoma.	Liver Int. 2014 Jul;34(6):937-41.
141	的野　る美	第二外科	Arachidonic acid induces direct interaction of the p67(phox)-Rac complex with the phagocyte oxidase Nox2, leading to superoxide production.	J Biol Chem. 2014 Sep 5;289(36):24874-84.
142	田中　仁寛	第二外科	A luteinizing hormone-releasing hormone agonist plus an aromatase inhibitor as second-line endocrine therapy in premenopausal females with hormone receptor-positive metastatic breast cancer.	Surg Today. 2014 Sep;44(9):1678-84.
143	渡邊　雅之	第二外科	Modified gastric pull-up reconstructions following pharyngolaryngectomy with total esophagectomy.	Dis Esophagus. 2014 Apr;27(3):255-61.
144	渡邊　雅之	第二外科	Outcomes of preoperative chemotherapy with docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil followed by esophagectomy in patients with resectable node-positive esophageal cancer.	Ann Surg Oncol. 2014 Sep;21(9):2838-44.
145	渡邊　雅之	第二外科	Outcomes of lymphadenectomy for lymph node recurrence after esophagectomy or definitive chemoradiotherapy for squamous cell carcinoma of the esophagus.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2014 Nov;62(11):685-92.
146	渡邊　雅之	第二外科	Total gastrectomy risk model: data from 20,011 Japanese patients in a nationwide internet-based database.	Ann Surg. 2014 Dec;260(6):1034-9.
147	藤中　良彦	第二外科	Definitive chemoradiotherapy and salvage esophagectomy for esophageal cancer associated with multiple lung metastases: a case report.	Int Surg. 2014 Sep-Oct;99(5):640-4.
148	徳永えり子	第二外科	Overexpression of metadherin/MTDH is associated with an aggressive phenotype and a poor prognosis in invasive breast cancer.	Breast Cancer. 2014 May;21(3):341-9.
149	徳永えり子	第二外科	Spontaneous regression of breast cancer with axillary lymph node metastasis: a case report and review of literature.	Int J Clin Exp Pathol. 2014 Jun 15;7(7):4371-80.
150	徳永えり子	第二外科	Molecular mechanisms regulating the hormone sensitivity of breast cancer.	Cancer Sci. 2014 Nov;105(11):1377-83.
151	内山　秀昭	第二外科	Use of living donor liver grafts with double or triple arteries.	Transplantation 2014 Jun 15;97(11):1172-7

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
152	内山　秀昭	第二外科	Tape-guided pure laparoscopic hepatectomy for laterally located tumors: a technique to yield an appropriate tumor-free surgical margin and to make parenchymal transection easier.	J Am Coll Surg. 2014 Sep;219(3):e25-8.
153	二宮　瑞樹	第二外科	Different histological sequelae of immune-mediated graft dysfunction after interferon treatment in transplanted dual grafts from living donors.	Liver Transpl. 2014 Dec;20(12):1520-2.
154	日吉　幸晴	第二外科	IgG4-related disease of the ileocecal region mimicking malignancy: A case report.	Int J Surg Case Rep. 2014;5(10):669-72.
155	播本　憲史	第二外科	Chronic immune-mediated reaction syndrome as the cause of late graft mortality in living-donor liver transplantation for primary biliary cirrhosis.	Transplant Proc. 2014 Jun;46(5):1438-43.
156	冨野　高広	第二外科	Outcomes of emergency surgery for acute abdomen in dialysis patients: experience of a single community hospital.	Surg Today. 2014 Apr;44(4):690-5.
157	冨野　高広	第二外科	Spontaneous massive necrosis of hepatocellular carcinoma with narrowing and occlusion of the arteries and portal veins.	Case Rep Gastroenterol. 2014 Apr 24;8(1):148-55.
158	武石　一樹	第二外科	Risk factors for organ/space surgical site infection after hepatectomy for hepatocellular carcinoma.	Am Surg. 2014 Nov;80(11):1173-5.
159	武谷　憲二	第二外科	Early discontinuation of adjuvant hormone therapy is associated with a poor prognosis in Japanese breast cancer patients.	Surg Today. 2014 Oct;44(10):1841-6.
160	武谷　憲二	第二外科	A case of invasive micropapillary carcinoma of the breast involving extensive lymph node metastasis.	World J Surg Oncol. 2014 Apr 4;12:84.
161	武藤　純	第二外科	The apelin-APJ system induces tumor arteriogenesis in hepatocellular carcinoma.	Anticancer Res. 2014 Oct;34(10):5313-20.
162	福原　崇介	第二外科	Amphipathic α-helices in apolipoproteins are crucial to the formation of infectious hepatitis C virus particles.	PLoS Pathog. 2014 Dec 11;10(12):e1004534.
163	平井　文彦	第二外科	Experience with erlotinib in lung adenocarcinoma harboring a coexisting KIF5B-RET fusion gene and EGFR mutation: report of a rare case.	J Thorac Oncol. 2014 May;9(5):e37-9.
164	平井　文彦	第二外科	Results of S-1-based chemotherapy for platinum (and antrathycline)-refractory advanced thymic carcinoma.	Anticancer Res. 2014 Oct;34(10):5743-7.
165	平井　文彦	第二外科	Good Response to Pemetrexed after Treatment Failure with Another Thymidylate Synthase Inhibitor in Lung Adenocarcinoma: A Case Report.	J Cancer Ther 5, 766-768.
166	豊川　剛二	第二外科	ALK inhibitors: what is the best way to treat patients with ALK+ non-small-cell lung cancer?	Clin Lung Cancer. 2014 Sep;15(5):313-9
167	豊川　剛二	第二外科	Secondary mutations at I1171 in the ALK gene confer resistance to both Crizotinib and Alectinib.	J Thorac Oncol. 2014 Dec;9(12):e86-7.
168	豊川　剛二	第二外科	Anaplastic lymphoma kinase rearrangement in lung cancer: its biological and clinical significance.	Respir Investig, 2014 Nov;52(6):330-338.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
169	豊川 剛二	第二外科	Significance of Multimodality Therapy in Patients with a Superior Sulcus Tumor of the Lung: A Review Article.	J Cancer Ther 5: 115-23, 2014.
170	木村 光一	第二外科	Clinical significance of gastrointestinal bleeding after living donor liver transplantation.	Transpl Int. 2014 Jul;27(7):705-11.
171	野添 忠浩	第二外科	Prognostic criteria in colorectal carcinoma constructed by the combination of tumor-related and host-related factors.	Am J Surg. 2014 Jul;208(1):119-23.
172	野添 忠浩	第二外科	Glasgow Prognostic Score (GPS) can be a useful indicator to determine prognosis of patients with colorectal carcinoma.	Int Surg. 2014 Sep-Oct;99(5):512-7.
173	由茅 隆文	第二外科	Clinical outcomes and prognostic factors after surgery for non-occlusive mesenteric ischemia: a multicenter study.	J Gastrointest Surg. 2014 Sep;18(9):1642-7.
174	趙　岩	第二外科	Aberrations of BUBR1 and TP53 gene mutually associated with chromosomal instability in human colorectal cancer.	Anticancer Res. 2014 Oct;34(10):5421-7.
175	赤崎 幸穂	整形外科	FoxO transcription factors support oxidative stress resistance in human chondrocytes.	Arthritis Rheumatol. 2014 Dec;66(12):3349-58.
176	石原 康平	整形外科	Simultaneous regeneration of full-thickness cartilage and subchondral bone defects in vivo using a three-dimensional scaffold-free autologous construct derived from high-density bone marrow-derived mesenchymal stem cells.	J Orthop Surg Res. 2014 Oct 14;9:98.
177	大石 正信	整形外科	Characteristics of lumbar scoliosis in patients with rheumatoid arthritis.	J Orthop Surg Res. 2014 Apr 26;9:30.
178	岡崎 賢	整形外科	Medial sixth of the patellar tendon at the tibial attachment is useful for the anterior reference in rotational alignment of the tibial component.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2014 May;22(5):1070-5.
179	岡崎 賢	整形外科	Internal rotation of femoral component affects functional activities after TKA--survey with the 2011 Knee Society Score.	J Arthroplasty. 2014 Dec;29(12):2319-23.
180	岡崎 賢	整形外科	Extension gap needs more than 1-mm laxity after implantation to avoid post-operative flexion contracture in total knee arthroplasty.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2014 Dec;22(12):3174-80.
181	岡崎 賢	整形外科	Femoral tunnel apertures on the lateral cortex in anterior cruciate ligament reconstruction: an analysis of cortical button fixation.	Arthroscopy. 2014 Jul;30(7):841-8.
182	岡崎 賢	整形外科	Influence of the posterior tibial slope on the flexion gap in total knee arthroplasty.	Knee. 2014 Aug;21(4):806-
183	岡崎 賢	整形外科	The coronal alignment after medial unicompartmental knee arthroplasty can be predicted: usefulness of full-length valgus stress radiography for evaluating correctability.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2014 Dec;22(12):3142-9.
184	岡崎 賢	整形外科	Comparison of transtibial and transportal techniques in drilling femoral tunnels during anterior cruciate ligament reconstruction using 3D-CAD models.	Open Access J Sports Med. 2014 Apr 4;5:65-72.
185	岡崎 賢	整形外科	CCAAT/enhancer binding protein β regulates expression of Indian hedgehog during chondrocytes differentiation.	PLoS One. 2014 Aug 8;9(8):e104547.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
186	小山田 亜希子	整形外科	Tyk2-dependent bystander activation of conventional and nonconventional Th1 cell subsets contributes to innate host defense against Listeria monocytogenes infection.	J Immunol. 2014 May 15;192(10):4739-47.
187	小早川 和	整形外科	Acute hyperglycemia impairs functional improvement after spinal cord injury in mice and humans.	Sci Transl Med. 2014 Oct 1;6(256):256ra137.
188	中島 康晴	整形外科	Kinematic Analysis of Healthy Hips during Weight-Bearing Activities by 3D-to-2D Model-to-Image Registration Technique.	Biomed Res Int. 2014;2014:457573.
189	中島 康晴	整形外科	Influencing factors for the increased stem version compared to the native femur in cementless total hip arthroplasty.	Int Orthop. 2014 Jul;38(7):1341-6.
190	中島 康晴	整形外科	Radiographic characteristics of the hand and cervical spine in fibrodysplasia ossificans progressiva.	Intractable Rare Dis Res. 2014 May;3(2):46-51.
191	濵井 敏	整形外科	No influence of coronal laxity and alignment on lift-off after well-balanced and aligned total knee arthroplasty.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2014 Aug;22(8):1799-804.
192	濵井 敏	整形外科	Ischio-pubic stress fracture after peri-acetabular osteotomy in patients with hip dysplasia.	Int Orthop. 2014 Oct;38(10):2051-6.
193	松本 嘉寛	整形外科	A shallow chest correlates with the aortic position in the normal spine: features resembling those observed in structural scoliosis.	Scoliosis. 2014 Aug 30;9:14.
194	本村 悟朗	整形外科	Scintigraphic assessments of the reparative process in osteonecrosis of the femoral head using SPECT/CT with 99mTc hydroxymethylene diphosphonate.	Nucl Med Commun. 2014 Oct;35(10):1047-51.
195	山本 卓明	整形外科	Cytochrome P4503A activity affects the gender difference in the development of steroid-induced osteonecrosis in rabbits.	Int J Exp Pathol. 2014 Apr;95(2):147-52.
196	山本 卓明	整形外科	Bone and cartilage metabolism markers in synovial fluid of the hip joint with secondary osteoarthritis.	Rheumatology (Oxford). 2014 Dec;53(12):2191-5
197	山本 卓明	整形外科	Subchondral insufficiency fracture of the femoral head in males.	Arch Orthop Trauma Surg. 2014 Sep;134(9):1199-203.
198	飯原 弘二	脳神経外科	Effects of comprehensive stroke care capabilities on in-hospital mortality of patients with ischemic and hemorrhagic stroke: J-ASPECT study.	PLoS One. 2014 May 14;9(5):e96819.
199	森 恩	脳神経外科	Intraoperative visualization of cerebral oxygenation using hyperspectral image data: a two-dimensional mapping method.	Int J Comput Assist Radiol Surg. 2014 Apr 16.
200	迎 伸孝	脳神経外科	ILAE focal cortical dysplasia type IIIc in the ictal onset zone in epileptic patients with solitary meningioangiomatosis.	Epileptic Disord. 2014 Dec;16(4):533-9.
201	松尾 諭	脳神経外科	Gene Expression Profiling and Bioinformatic Analysis of Rabbit Basilar Artery after Experimental Subarachnoid Hemorrhage.	J Neurol Neurophysiol 5: 201
202	牛島 智基	心臓血管外科	Operative modification for the prevention of device-related infection during NIPRO extracorporeal left ventricular assist device implantation.	J Artif Organs. 2014 Sep;17(3):220-7

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
203	牛島　智基	心臓血管外科	Cardiac energetics analysis after aortic valve replacement with 16-mm ATS mechanical valve.	J Artif Organs. 2014 Sep;17(3):250-7.
204	鬼塚　大史	心臓血管外科	Total resection of the aortic arch intimal sarcoma using the L-incision technique.	Eur J Cardiothorac Surg. 2014 May;45(5):942-4.
205	西田　誉浩	心臓血管外科	Single-institution, 22-year follow-up of 786 CarboMedics mechanical valves used for both primary surgery and reoperation.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2014 May;147(5):1493-8.
206	西田　誉浩	心臓血管外科	The novel EuroSCORE II algorithm predicts the hospital mortality of thoracic aortic surgery in 461 consecutive Japanese patients better than both the original additive and logistic EuroSCORE algorithms.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2014 Apr;18(4):446-50.
207	西田　誉浩	心臓血管外科	Long-Term Comparison of Three Types of Aortic St. Jude Medical Mechanical Prosthesis in Japanese Patients.	Circulation J 78(11): 2688-2695, 2014.10
208	藤田　智	心臓血管外科	Autophagy-mediated stress response in motor neurons after hypothermic spinal cord ischemia in rabbits.	J Vasc Surg. 2014 May 10. pii: S0741-5214(14)00842-8.
209	田口　智章	小児外科	Isolated intestinal neuronal dysplasia Type B (IND-B) in Japan: results from a nationwide survey.	Pediatr Surg Int. 2014 Aug;30(8):815-22.
210	三好　きな	小児外科	Close correlation between CXCR4 and VEGF expression and frequent CXCR7 expression in rhabdomyosarcoma.	Hum Pathol. 2014 Sep;45(9):1900-9.
211	木下　義晶	小児外科	Glypican 3 expression in pediatric malignant solid tumors.	Eur J Pediatr Surg. 2015 Feb;25(1):138-44.
212	伊東　孝通	皮膚科	Dermoscopic features of polypoid epidermal cyst.	Australas J Dermatol. 2014 May;55(2):e19-20.
213	伊東　孝通	皮膚科	Pigmented Bowen's disease with prominent amyloid deposition on the eyelid.	Indian J Dermatol Venereol Leprol. 2014 Nov-Dec;80(6):558-60
214	伊東　孝通	皮膚科	Lipoblastomatosis on the sole showing spontaneous regression.	Eur J Dermatol. 2014 May-Jun;24(3):399-401.
215	稲富　裕佑	皮膚科	Hybrid perineurioma-neurofibroma in a patient with neurofibromatosis type 1, clinically mimicking malignant peripheral nerve sheath tumor.	Eur J Dermatol. 2014 May-Jun;24(3):412-3.
216	内　博史	皮膚科	Z-Ligustilide inhibits benzo(a)pyrene-induced CYP1A1 upregulation in cultured human keratinocytes via ROS-dependent Nrf2 activation.	Exp Dermatol. 2014 Apr;23(4):260-5.
217	大場　純奈	皮膚科	Expression of programmed death receptor ligand 1 in melanoma may indicate tumor progression and poor patient survival.	J Am Acad Dermatol. 2014 May;70(5):954-6.
218	加来　裕美子	皮膚科	Generalized fixed drug eruption induced by tranexamic acid.	Eur J Dermatol. 2014 May-Jun;24(3):408-9.
219	朱　里	皮膚科	Upregulated expression of calcyclin-binding protein/siah-1 interacting protein in malignant melanoma.	Ann Dermatol. 2014 Oct;26(5):670-3.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
220	玉利　真由美	皮膚科	An association study of 36 psoriasis susceptibility loci for psoriasis vulgaris and atopic dermatitis in a Japanese population.	J Dermatol Sci. 2014 Nov;76(2):156-7.
221	中原　剛士	皮膚科	Late-onset self-healing Langerhans cell histiocytosis in a patient with atopic dermatitis.	J Dermatol. 2014 May;41(5):450-1.
222	中原　真希子	皮膚科	Necrolytic migratory erythema associated with alteration from predominantly gastrin-secreting to predominantly glucagon-secreting pancreatic neuroendocrine tumor.	Eur J Dermatol. 2014 Nov-Dec;24(6):702-3.
223	中原　真希子	皮膚科	Neural peptidase endothelin-converting enzyme 1 regulates endothelin 1-induced pruritus.	J Clin Invest. 2014 Jun;124(6):2683-95.
224	古江　増隆	皮膚科	Safety and efficacy of topical E6005, a phosphodiesterase 4 inhibitor, in Japanese adult patients with atopic dermatitis: results of a randomized, vehicle-controlled, multicenter clinical trial.	J Dermatol. 2014 Jul;41(7):577-85.
225	三田村　康貴	皮膚科	S100A6 and c-Kit-Positive Spindle Cell Melanoma of the Dorsal Foot.	Case Rep Dermatol. 2014 May 16;6(2):140-4.
226	三田村　康貴	皮膚科	Increased expression of S100A6 in malignant granular cell tumours.	Acta Derm Venereol. 2014 Sep;94(5):595-6.
227	安川　晋輔	皮膚科	An ITAM-Syk-CARD9 signalling axis triggers contact hypersensitivity by stimulating IL-1 production in dendritic cells.	Nat Commun. 2014 May 7;5:3755.
228	安河内　由美	皮膚科	Reduction of serum TARC levels in atopic dermatitis by topical anti-inflammatory treatments.	Asian Pac J Allergy Immunol. 2014 Sep;32(3):240-5.
229	山村　和彦	皮膚科	Anti-allergic mechanisms of Japanese herbal medicine, yokukansan on mast cells.	J Dermatol. 2014 Sep;41(9):808-14.
230	鍬塚　大	皮膚科	Yusho patients show increased serum IL-17, IL-23, IL-1 β , and TNF α levels more than 40 years after accidental polychlorinated biphenyl poisoning.	J Immunotoxicol. 2014 Jul-Sep;11(3):246-9.
231	佐々木　誉子	皮膚科	Filaggrin loss-of-function mutations are not a predisposing factor for atopic dermatitis in an Ishigaki Island under subtropical climate.	J Dermatol Sci. 2014 Oct;76(1):10-5.
232	内　博史	皮膚科	Resveratrol inhibition of human keratinocyte proliferation via SIRT1/ARNT/ERK dependent downregulation of aquaporin 3.	J Dermatol Sci. 2014 Jul;75(1):16-23.
233	逸見　百江	泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科	PMA induces androgen receptor downregulation and cellular apoptosis in prostate cancer cells.	J Mol Endocrinol. 2014 Aug;53(1):31-41.
234	塩田 真己	泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科	Targeting ribosomal S6 kinases/Y-box binding protein-1 signaling improves cellular sensitivity to taxane in prostate cancer.	Prostate. 2014 Jun;74(8):829-38.
235	塩田 真己	泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科	Inhibition of RSK/YB-1 signaling enhances the anti-cancer effect of enzalutamide in prostate cancer.	Prostate. 2014 Jun;74(9):959-69.
236	塩田 真己	泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科	The feature of metabolic syndrome is a risk factor for biochemical recurrence after radical prostatectomy.	J Surg Oncol. 2014 Sep;110(4):476-81.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
237	塩田 真己	泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科	The oncological outcomes and risk stratification in docetaxel chemotherapy for castration-resistant prostate cancer.	Jpn J Clin Oncol. 2014 Sep;44(9):860-7.
238	塩田 真己	泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科	Risk factors for febrile neutropenia in patients receiving docetaxel chemotherapy for castration-resistant prostate cancer.	Support Care Cancer. 2014 Dec;22(12):3219-26.
239	神庭　重信	精神科神経科	Safety and efficacy of olanzapine in the long-term treatment of Japanese patients with bipolar I disorder, depression: an integrated analysis.	Psychiatry Clin Neurosci. 2014 Jul;68(7):498-505.
240	神庭　重信	精神科神経科	Brain-derived neurotrophic factor (BDNF) induces sustained intracellular Ca2+ elevation through the up-regulation of surface transient receptor potential 3 (TRPC3) channels in rodent microglia.	J Biol Chem. 2014 Jun 27;289(26):18549-55.
241	神庭　重信	精神科神経科	A case of late-onset bipolar disorder with severely abnormal behavior and neuroimaging observations very similar to those of frontotemporal dementia.	J Neuropsychiatry Clin Neurosci. 2014 Winter;26(1):E35.
242	神庭　重信	精神科神経科	Neurobiological model of obsessive-compulsive disorder: evidence from recent neuropsychological and neuroimaging findings.	Psychiatry Clin Neurosci. 2014 Aug;68(8):587-605.
243	神庭　重信	精神科神経科	Direct induction of ramified microglia-like cells from human monocytes: dynamic microglial dysfunction in Nasu-Hakola disease.	Sci Rep. 2014 May 14;4:4957.
244	神庭　重信	精神科神経科	Progressive reduction of visual P300 amplitude in patients with first-episode schizophrenia: an ERP study.	Schizophr Bull. 2015 Mar;41(2):460-70.
245	神庭　重信	精神科神経科	Prism adaptation and perceptual skill learning deficits in early-stage Parkinson's disease.	Neuropsychobiology. 2014;70(3):165-72.
246	神庭　重信	精神科神経科	Preattentive dysfunction in patients with bipolar disorder as revealed by the pitch-mismatch negativity: a magnetoencephalography (MEG) study.	Bipolar Disord. 2014 Sep;16(6):592-9.
247	神庭　重信	精神科神経科	Identification of the hikikomori syndrome of social withdrawal: Psychosocial features and treatment preferences in four countries.	Int J Soc Psychiatry. 2015 Feb;61(1):64-72.
248	神庭　重信	精神科神経科	Efficacy of olanzapine monotherapy in the treatment of bipolar depression with mixed features.	J Affect Disord. 2014 Aug;164:57-62.
249	神庭　重信	精神科神経科	Efficacy of olanzapine in the treatment of bipolar mania with mixed features defined by DSM-5.	J Affect Disord. 2014 Oct;168:136-41
250	神庭　重信	精神科神経科	Comparative efficacy and tolerability of pharmacological treatments in the maintenance treatment of bipolar disorder: a systematic review and network meta-analysis.	Lancet Psychiatry 1(5): 351-359, 2014
251	神庭　重信	精神科神経科	Mechanisms for interferon-α-induced depression and neural stem cell dysfunction.	Stem Cell Reports. 2014 Jun 26;3(1):73-84.
252	小原　知之	精神科神経科	Altered expression of diabetes-related genes in Alzheimer's disease brains: the Hisayama study.	Cereb Cortex. 2014 Sep;24(9):2476-88.
253	吉田　敬子	精神科神経科	Altered strategy in short-term memory for pictures in children with attention-deficit/hyperactivity disorder: a near-infrared spectroscopy study.	Psychiatry Res. 2014 Jul 30;223(1):37-42.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
254	加藤　隆弘	精神科神経科	Microglial intracellular Ca(2+) signaling as a target of antipsychotic actions for the treatment of schizophrenia.	Front Cell Neurosci. 2014 Nov 5;8:370.
255	加藤　隆弘	精神科神経科	Effectiveness of brief suicide management training programme for medical residents in Japan: a cluster randomized controlled trial.	Epidemiol Psychiatr Sci. 2014 Jun;23(2):167-76.
256	佐方　功明	精神科神経科	Genetic factors associated with serum haptoglobin level in a Japanese population.	Clin Chim Acta. 2014 Jun 10;433:54-7.
257	武田　篤信	眼科	EBI3 is pivotal for the initiation of experimental autoimmune uveitis.	Exp Eye Res. 2014 Aug;125:107-13.
258	中武　俊二	眼科	Hyphema is a risk factor for failure of trabeculectomy in neovascular glaucoma: a retrospective analysis.	BMC Ophthalmol. 2014 Apr 26;14:55.
259	中尾　新太郎	眼科	Chromovitrectomy and vital dyes.	Dev Ophthalmol. 2014;54:120-5.
260	石橋　達朗	眼科	Decreased proteasomal activity causes photoreceptor degeneration in mice.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2014 Jul 3;55(7):4682-90.
261	石橋　達朗	眼科	Individualized, spectral domain-optical coherence tomography-guided facedown posturing after macular hole surgery: minimizing treatment burden and maximizing outcome.	Retina. 2014 Jul;34(7):1367-75.
262	立花　崇	眼科	Ultrastructural changes of the vitreoretinal interface during long-term follow-up after removal of the internal limiting membrane.	Am J Ophthalmol. 2014 Sep;158(3):550-6.e1.
263	池田　康博	眼科	Therapeutic efficacy of topical unoprostone isopropyl in retinitis pigmentosa.	Acta Ophthalmol. 2014 May;92(3):e229-34.
264	中間　崇仁	眼科	Inhibition of choroidal fibrovascular membrane formation by new class of RNA interference therapeutic agent targeting periostin.	Gene Ther. 2015 Feb;22(2):127-37.
265	神谷　武志	放射線科	Differentiation between benign phyllodes tumors and fibroadenomas of the breast on MR imaging.	Eur J Radiol. 2014 Aug;83(8):1344-9.
266	浅山　良樹	放射線科	Distinguishing intrahepatic cholangiocarcinoma from poorly differentiated hepatocellular carcinoma using precontrast and gadoxetic acid-enhanced MRI.	Diagn Interv Radiol. 2015 Mar-Apr;21(2):96-104
267	山下　孝二	放射線科	The radiological diagnosis of fenestral otosclerosis: the utility of histogram analysis using multidetector row CT.	Eur Arch Otorhinolaryngol. 2014 Dec;271(12):3277-82.
268	西江　昭弘	放射線科	Pathological manifestation of difference in washout pattern of adrenal hyperplasia on dynamic CT.	J Med Imaging Radiat Oncol. 2014 Oct;58(5):559-64.
269	西江　昭弘	放射線科	Detectability of hepatocellular carcinoma on gadoxetic acid-enhanced MRI at 3 T in patients with severe liver dysfunction: clinical impact of dual-source parallel radiofrequency excitation.	Clin Radiol. 2015 Mar;70(3):254-61.
270	藤田　展宏	放射線科	Role of tumor-associated macrophages in the angiogenesis of well-differentiated hepatocellular carcinoma: pathological-radiological correlation.	Oncol Rep. 2014 Jun;31(6):2499-505.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
271	藤田　展宏	放射線科	Hepatocellular carcinoma: clinical significance of signal heterogeneity in the hepatobiliary phase of gadoxetic acid-enhanced MR imaging.	Eur Radiol. 2015 Jan;25(1):211-20.
272	高山　幸久	放射線科	Three-dimensional T2-weighted imaging for liver MRI: clinical values of tissue-specific variable refocusing flip-angle turbo spin echo imaging.	J Magn Reson Imaging. 2015 Feb;41(2):339-46.
273	吉武　忠正	放射線科	Stereotactic body radiation therapy for primary lung cancers clinically diagnosed without pathological confirmation: a single-institution experience.	Int J Clin Oncol. 2015 Feb;20(1):53-8.
274	石神　康生	放射線科	Imaging spectrum of renal oncocytomas: a pictorial review with pathologic correlation.	Insights Imaging. 2015 Feb;6(1):53-64.
275	石神　康生	放射線科	Characterization of renal cell carcinoma, oncocytoma, and lipid-poor angiomyolipoma by unenhanced, nephrographic, and delayed phase contrast-enhanced computed tomography.	Clin Imaging. 2015 Jan-Feb;39(1):76-84.
276	石神　康生	放射線科	Comparison of 2 oral ultrasonography contrast agents: simethicone-coated cellulose and simethicone-water rotation in improving pancreatic visualization.	Ultrasound Q. 2014 Jun;30(2):135-8.
277	石神　康生	放射線科	Radiologic manifestations of angioedema.	Insights Imaging. 2014 Jun;5(3):365-74.
278	石神　康生	放射線科	Tumor grade of clear cell renal cell carcinoma assessed by contrast-enhanced computed tomography.	Springerplus. 2014 Nov 26;3:694.
279	山崎　誘三	放射線科	Quantitative assessment of right ventricular function and pulmonary regurgitation in surgically repaired tetralogy of Fallot using 256-slice CT: comparison with 3-Tesla MRI.	Eur Radiol. 2014 Dec;24(12):3289-99.
280	山崎　誘三	放射線科	Prosthetic valve dysfunction in repaired tetralogy of Fallot: assessment by FDG-PET and 256-slice 4D-CT.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2014 Nov;15(11):1303.
281	白水　和宏	麻酔科蘇生科	Farnesyltransferase inhibitor, tipifarnib, prevents galactosamine/lipopolysaccharide-induced acute liver failure.	Shock. 2014 Dec;42(6):570-7.
282	古庄　憲浩	総合診療科	Subclinical carotid atherosclerosis and triglycerides predict the incidence of chronic kidney disease in the Japanese general population: results from the Kyushu and Okinawa Population Study (KOPS).	Atherosclerosis. 2015 Feb;238(2):207-12.
283	相原 正宗	検査部	Tor and the Sin3-Rpd3 complex regulate expression of the mitophagy receptor protein Atg32 in yeast.	J Cell Sci. 2014 Jul 15;127(Pt 14):3184-96.
284	福應　温	検査部	Screen for mitochondrial DNA copy number maintenance genes reveals essential role for ATP synthase.	Mol Syst Biol. 2014 Jun 21;10:734.
285	阿部　光一郎	放射線部	PET/CT findings in acute gastric anisakiasis.	Clin Nucl Med. 2014 Jun;39(6):e340-2.
286	磯田　拓郎	放射線部	Nabothian cyst a predominant cause of false-positive iodine uptake in uterus: comparison of SPECT/CT and pelvic MRI.	Clin Nucl Med. 2014 Aug;39(8):680-4.
287	上原　隆治	放射線部	Intravoxel incoherent motion magnetic resonance imaging findings in the acute phase of MELAS: a case report.	Brain Behav. 2014;4(6):798-800.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
288	栂尾 理	放射線部	Scan-rescan reproducibility of parallel transmission based amide proton transfer imaging of brain tumors.	J Magn Reson Imaging. 2015 Mar 30.
289	長尾 充展	放射線部	Prediction of adverse cardiac events in dilated cardiomyopathy using cardiac T2* MRI and MIBG scintigraphy.	Int J Cardiovasc Imaging. 2015 Feb;31(2):399-407.
290	中村 和正	放射線部	Targeted radionuclide therapy for castration-resistant prostate cancer.	Nihon Rinsho. 2014 Dec;72(12):2181-5.
291	中村 和正	放射線部	The control of respiratory organ motion in the field of radiology: the viewpoint of a radiation oncologist.	Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi. 2014 May;70(5):477-82.
292	馬場 眞吾	放射線部	Diagnostic and prognostic value of pretreatment SUV in 18F-FDG/PET in breast cancer: comparison with apparent diffusion coefficient from diffusion-weighted MR imaging.	J Nucl Med. 2014 May;55(5):736-42.
293	藤淵 俊王	放射線部	Distribution of residual long-lived radioactivity in the inner concrete walls of a compact medical cyclotron vault room.	Ann Nucl Med. 2015 Jan;29(1):84-90.
294	山下 考二	放射線部	High-resolution three-dimensional diffusion-weighted MRI/CT image data fusion for cholesteatoma surgical planning: a feasibility study.	Eur Arch Otorhinolaryngol. 2014 Dec 28.
295	菊池 一史	放射線部	Balloon test occlusion of internal carotid artery: Angiographic findings predictive of results.	World J Radiol. 2014 Aug 28;6(8):619-24.
296	吉留 郷志	放射線部	Feasibility study of automated framework for estimating lung tumor locations for target-based patient positioning in stereotactic body radiotherapy.	Biomed Res Int. 2015;2015:653974.
297	中西 大樹	放射線部	A method of neutron-energy evaluation based on the position distribution of recoil protons.	Progress in Nuclear Science and Technology Volume 4 (2014) pp. 653-656
298	栂尾 理	放射線部	Additional MR contrast dosage for radiologists' diagnostic performance in detecting brain metastases: a systematic observer study at 3 T.	Jpn J Radiol. 2014 Sep;32(9):537-44.
299	筒井 悠治	放射線部	Accuracy of amplitude-based respiratory gating for PET/CT in irregular respirations.	Ann Nucl Med. 2014 Oct;28(8):770-9.
300	赤星 朋比古	救命救急センター	Comparison of open, laparoscopic, and hand-assisted laparoscopic devascularization of the upper stomach and splenectomy for treatment of esophageal and gastric varices: a single-center experience.	Asian J Endosc Surg. 2014 May;7(2):138-44.
301	相島 慎一	病理診断科・病理部	Bile duct adenoma and von Meyenburg complex-like duct arising in hepatitis and cirrhosis: pathogenesis and histological characteristics.	Pathol Int. 2014 Nov;64(11):551-9.
302	平橋 美奈子	病理診断科・病理部	Induced nitric oxide synthetase and peroxiredoxin expression in intramucosal poorly differentiated gastric cancer of young patients.	Pathol Int. 2014 Apr;64(4):155-63.
303	孝橋 賢一	病理診断科・病理部	Differential microRNA expression profiles between malignant rhabdoid tumor and epithelioid sarcoma: miR193a-5p is suggested to downregulate SMARCB1 mRNA expression.	Mod Pathol. 2014 Jun;27(6):832-9.
304	久保 雄一郎	病理診断科・病理部	Different expression of glucose transporters in the progression of intrahepatic cholangiocarcinoma.	Hum Pathol. 2014 Aug;45(8):1610-7.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
305	間野　洋平	病理診断科・病理部	Correlation between Biological Marker Expression and Fluorine-18 Fluorodeoxyglucose Uptake in Hepatocellular Carcinoma Measured by Positron Emission Tomography.	The American Society for Clinical Pathology. 2014 Sep;142(3):391-7
306	高橋　祐介	病理診断科・病理部	Activation of the Akt/mammalian target of rapamycin pathway in myxofibrosarcomas.	Hum Pathol. 2014 May;45(5):984-93.
307	岩﨑　浩己	遺伝子・細胞療法部	CD41 marks the initial myelo-erythroid lineage specification in adult mouse hematopoiesis: redefinition of murine common myeloid progenitor.	Stem Cells. 2015 Mar;33(3):976-87.
308	竹中　克斗	遺伝子・細胞療法部	A multinational, open-label, phase 2 study of ruxolitinib in Asian patients with myelofibrosis: Japanese subset analysis.	Int J Hematol. 2015 Mar;101(3):295-304.
309	國﨑　祐哉	遺伝子・細胞療法部	Megakaryocytes regulate hematopoietic stem cell quiescence through CXCL4 secretion.	Nat Med. 2014 Nov;20(11):1315-20.
310	國﨑　祐哉	遺伝子・細胞療法部	Acute myelogenous leukemia-induced sympathetic neuropathy promotes malignancy in an altered hematopoietic stem cell niche.	Cell Stem Cell. 2014 Sep 4;15(3):365-75.
311	藤原ありさ	総合周産期母子医療センター	Perinatal management of preterm premature ruptured membranes affects neonatal prognosis.	J Perinat Med. 2014 Jul;42(4):499-505.
312	日高庸博	総合周産期母子医療センター	Perinatal characteristics of fetuses with borderline ventriculomegaly detected by routine ultrasonographic screening of low-risk populations.	J Obstet Gynaecol Res. 2014 Apr;40(4):1030-6.
313	日高庸博	総合周産期母子医療センター	Associated anomalies in congenital diaphragmatic hernia: perinatal characteristics and impact on postnatal survival.	J Perinat Med. 2015 Mar;43(2):245-52.
314	楠田　剛	総合周産期母子医療センター	Kawasaki disease-specific molecules in the sera are linked to microbe-associated molecular patterns in the biofilms.	PLoS One. 2014 Nov 20;9(11):e113054.
315	落合　正行	総合周産期母子医療センター	Survival and neurodevelopmental outcome of preterm infants born at 22-24 weeks of gestational age.	Neonatology. 2014;105(2):79-84.
316	落合　正行	総合周産期母子医療センター	Investigation in a murine model of possible mechanisms of enhanced local reactions to post-primary diphtheria-tetanus toxoid boosters in recipients of acellular pertussis-diphtheria-tetanus vaccine.	Hum Vaccin Immunother. 2014;10(7):2074-80.
317	ラティ ユニアルタ	総合周産期母子医療センター	Therapeutic potential of mesenchymal stem cell transplantation in a nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia rat model.	Pediatr Surg Int. 2014 Sep;30(9):907-14.
318	永田　公二	総合周産期母子医療センター	Risk factors for the recurrence of the congenital diaphragmatic hernia-report from the long-term follow-up study of Japanese CDH study group.	Eur J Pediatr Surg. 2015 Feb;25(1):9-14
319	中島　直樹	メディカル・インフォメーションセンター	Targeting Morbidity in Unreached Communities Using Portable Health Clinic System.	IEICE Trans Commun, E97-B, (3) 540-545, 2014.03.
320	山下　貴範	メディカル・インフォメーションセンター	Extraction of Key Factors from Operation Records by Support Vector Machine and Feature Selection.	Indian Journal of Medical Informatics APAMI 2014 Special Issue, 8(2), 70-71, 2014.11.
321	山下　貴範	メディカル・インフォメーションセンター	Construction of Dominant Factor Presumption Model for Postoperative Hospital Days from Operation Records.	Proceedings of ESKM 2014, 19-24, 2014.09.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
322	野原　康伸	メディカル・インフォメーションセンター	Health checkup and telemedical intervention program for preventive medicine in developing countries: verification study.	J Med Internet Res. 2015 Jan 28;17(1):e2
323	清水　周次	光学医療診療部	Ten-year experience of remote medical education in Asia.	Telemed J E Health. 2014 Nov;20(11):1021-6.
324	前畠　裕司	光学医療診療部	Duodenal adenomatosis in Japanese patients with familial adenomatous polyposis.	Dig Endosc. 2014 Apr;26 Suppl 2:30-4.
325	河野　喬仁	先端医工学診療部	Systemic delivery of protein nanocages bearing CTT peptides for enhanced imaging of MMP-2 expression in metastatic tumor models.	Int J Mol Sci. 2014 Dec 24;16(1):148-58.
326	橋爪　誠	先端医工学診療部	Template-guided implantation of the Bonebridge: clinical experience.	Eur Arch Otorhinolaryngol. 2014 Dec 19.
327	池田　哲夫	先端医工学診療部	Endoscopic evaluation of clinical colorectal anastomotic leakage.	J Surg Res. 2015 Jan;193(1):126-34
328	植村　宗則	先端医工学診療部	Objective assessment of the suture ligature method for the laparoscopic intestinal anastomosis model using a new computerized system.	Surg Endosc. 2015 Feb;29(2):444-52.
329	中楯　龍	先端医工学診療部	Gastric endoscopic submucosal dissection using novel 2.6-mm articulating devices: an ex vivo comparative and in vivo feasibility study.	Endoscopy. 2015 Feb 10.
330	増田　智先	薬剤部	Assessment of four methodologies (microparticle enzyme immunoassay, chemiluminescent enzyme immunoassay, affinity column-mediated immunoassay, and flow injection assay-tandem mass spectrometry) for measuring tacrolimus blood concentration in Japanese liver transplant recipients.	Transplant Proc. 2014 Apr;46(3):758-60.
331	増田　智先	薬剤部	Developmental trajectory of intestinal MDR1/ABCB1 mRNA expression in children.	Br J Clin Pharmacol. 2014 May;77(5):910-2.
332	増田　智先	薬剤部	Conformational change in transfer RNA is an early indicator of acute cellular damage.	J Am Soc Nephrol. 2014 Oct;25(10):2316-26.
333	増田　智先	薬剤部	Inhibitory effect of ciprofloxacin on β-glucuronidase-mediated deconjugation of mycophenolic acid glucuronide.	Biopharm Drug Dispos. 2014 Jul;35(5):275-83.
334	増田　智先	薬剤部	Time Course of Calcium Concentrations and Risk Factors for Hypocalcemia in Patients Receiving Denosumab for the Treatment of Bone Metastases From Cancer.	Ann Pharmacother. 2014 Jun 13;48(9):1159-1165.
335	増田　智先	薬剤部	Impact of cytochrome P450 3A5 polymorphism in graft livers on the frequency of acute cellular rejection in living-donor liver transplantation.	Pharmacogenet Genomics. 2014 Jul;24(7):356-66
336	増田　智先	薬剤部	Urinary neutrophil gelatinase-associated lipocalin: a useful biomarker for tacrolimus-induced acute kidney injury in liver transplant patients.	PLoS One. 2014 Oct 20;9(10):e110527.
337	増田　智先	薬剤部	Evaluation of teicoplanin concentrations and safety analysis in neonates.	Int J Antimicrob Agents. 2014 Nov;44(5):458-62
338	増田　智先	薬剤部	Effect of CYP2C19 polymorphisms on the clinical outcome of low-dose clobazam therapy in Japanese patients with epilepsy.	Eur J Clin Pharmacol. 2015 Jan;71(1):51-8.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
339	安藤 眞一	睡眠時無呼吸センター	Normal dose of pilsicainide showed marked negatibe otropic effects in a patient who had no underlying heart disease.	Journal of Arrhythmia 2013 May; 30(1): 68-70
340	安藤 眞一	睡眠時無呼吸センター	Nocturnal difference in the ultra low frequency band of heart rate variability in patients stratified by Kampo medicine prescription.	Circ J. 2014;78(8):1924-7.
341	安藤 眞一	睡眠時無呼吸センター	A randomised controlled trial for the evaluation of risk for type 2 diabetes in hypertensive patients receiving thiazide diuretics: Diuretics In the Management of Essential hypertension (DIME) study.	BMJ Open. 2014 Jul 16;4(7):e004576.
342	吉村 力	睡眠時無呼吸センター	Obesity hypoventilation syndrome in Japan and independent determinants of arterial carbon dioxide levels.	Respirology. 2014 Nov;19(8):1233-40.
343	吉村 力	睡眠時無呼吸センター	Associations among chronic obstructive pulmonary disease and sleep-disordered breathing in an urban male working population in Japan.	Respiration. 2014;88(3):234-43.
344	山座 治義	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	Overexpression of the adiponectin gene mimics the metabolic and stress resistance effects of calorie restriction, but not the anti-tumor effect.	Exp Gerontol. 2015 Apr;64:46-54.
345	山座 治義	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	Clinical approach to a suspected case of first branchial arch syndrome.	Case Rep Med. 2014;2014:506804.
346	和田 尚久	歯内治療科	Periodontal-ligament-derived stem cells exhibit the capacity for long-term survival, self-renewal, and regeneration of multiple tissue types in vivo.	Stem Cells Dev. 2014 May 1;23(9):1001-11.
347	長谷川 大学	歯内治療科	Wnt5a Induces Collagen Production by Human Periodontal Ligament Cells Through TGF β 1-Mediated Upregulation of Periostin Expression.	J Cell Physiol:Epub ahead of print 2015 Feb 5.
348	前田 英史	歯内治療科	Regeneration of the periodontium for preservation of the damaged tooth.	Histol Histopathol. 2014 Oct;29(10):1249-62.
349	前田 英史	歯内治療科	Quest for the development of tooth root/periodontal ligament complex by tissue engineering.	Integr Mol Med:2014 1(2): 22-25.
350	和田 尚久	歯内治療科	Semaphorin 3A induces mesenchymal-stem-like properties in human periodontal ligament cells.	Stem Cells Dev. 2014 Sep 15;23(18):2225-36.
351	郡 勝明	歯内治療科	The roles of calcium-sensing receptor and calcium channel in osteogenic differentiation of undifferentiated periodontal ligament cells.	Cell Tissue Res:2014 Sep;357(3): 707-718.
352	寺松 陽子	歯内治療科	Expression and effects of epidermal growth factor on human periodontal ligament cells.	Cell Tissue Res. 2014 Sep;357(3):633-43.
353	小幡 純子	歯内治療科	Identification of the microbiota in carious dentin lesions using 16S rRNA gene sequencing.	PLOS ONE:2014 Aug 1;9(8): e103712.
354	祐田 明香	歯内治療科	Effect of CTGF/CCN2 on osteo/cementoblastic and fibroblastic differentiation of a human periodontal ligament stem/progenitor cell line.	J Cell Physiol. 2015 Jan;230(1):150-9.
355	杉井 英樹	歯内治療科	Effects of Activin A on the phenotypic properties of human periodontal ligament cells.	Bone. 2014 Sep;66:62-71.

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
356	前田 英史	歯内治療科	Physicochemical properties of newly developed bioactive glass cement and its effects on various cells.	J Biomed Mater Res B Appl Biomater. 2015 Feb;103(2):373-80.
357	藤瀬 修	歯周病科	Regenerative effect of azithromycin on periodontitis with different levels of gingival inflammation: three case reports.	Aust Dent J. 2014 Jun;59(2):245-51.
358	森山　雅文	顎口腔外科	T helper subsets in Sjögren's syndrome and IgG4-related dacryoadenitis and sialoadenitis: a critical review.	J Autoimmun. 2014 Jun;51:81-8.
359	森山　雅文	顎口腔外科	The diagnostic utility of biopsies from the submandibular and labial salivary glands in IgG4-related dacryoadenitis and sialoadenitis, so-called Mikulicz's disease.	Int J Oral Maxillofac Surg. 2014 Oct;43(10):1276-81.
360	田中　秀明	顎口腔外科	Apoptotic function of tumor-associated antigen RCAS1 in oral squamous cell carcinoma.	J Transl Med. 2014 May 6;12:112.
361	笹栗　正明	顎口腔外科	Effects of Hot's plate and lip adhesion on maxillary arch in patients with complete unilateral cleft lip and palate until 5 years of age.	J. Oral Maxillofac. Surg. Med. Pathol. 26(3):292-300, 2014.
362	家田　晋輔	顎口腔外科	Molecular analysis of fungal populations in patients with oral candidiasis using internal transcribed spacer region.	PLoS One. 2014 Jun 30;9(6):e101156.
363	川久保　友世	顎口腔外科	Repression of cathepsin E expression increases the risk of mammary carcinogenesis and links to poor prognosis in breast cancer.	Carcinogenesis 35(3):714-726, 2014.
364	坪井　洋人	顎口腔外科	Primary and secondary surveys on epidemiology of Sjögren's syndrome in Japan.	Mod Rheumatol. 2014 May;24(3):464-70
365	坪井　洋人	顎口腔外科	DNA microarray analysis of labial salivary glands in IgG4-related disease: comparison with Sjögren's syndrome.	Arthritis Rheumatol. 2014 Oct;66(10):2892-9
366	古川　祥子	顎口腔外科	Preferential M2 macrophages contribute to fibrosis in IgG4-related dacryoadenitis and sialoadenitis, so-called Mikulicz's disease.	Clin Immunol. 2015 Jan;156(1):9-18.
367	林田　淳之介	顎口腔外科	Differences of stimulated and unstimulated salivary flow rates in the patients with dry mouth.	J. Oral Maxillofac. Surg. Med. Pathol. 27(1):96-101, 2015 Jan.
368	山田 朋弘	顔面口腔外科	SPARC is associated with carcinogenesis of oral squamous epithelium and consistent with cell competition.	Med Mol Morphol. 2014 Oct 14
369	中野 旬之	顔面口腔外科	Different therapeutic mechanisms of rigid and semi-rigid mandibular repositioning devices in obstructive sleep apnea syndrome.	J Craniomaxillofac Surg. 2014 Dec;42(8):1650-4.
370	大山 順子	顔面口腔外科	Clinical relevance of Küttner tumour and IgG4-related dacryoadenitis and sialoadenitis.	Oral Dis. 2015 Mar;21(2):257-62.
371	熊丸　渉	顔面口腔外科	Biological characterization and analysis of metastasis-related genes in cell lines derived from the primary lesion and lymph node metastasis of a squamous cell carcinoma arising in the mandibular gingiva.	Int J Oncol. 2014 May;44(5):1614-24.
372	清水　真弓	口腔画像診断科	Dentigerous cysts with calcification mimicking odontogenic tumors: differential diagnosis by CT	Oral Radiology 2015 Jan; 31:14-22

番号	発表者氏名	所属診療科	題　名	雑　誌　名
373	北本　江梨奈	口腔画像診断科	The application of dynamic contrast-enhanced MRI and diffusion-weighted MRI in patients with maxillofacial tumors	Acad Radiol. 2015 Feb;22(2):210-6.

合計 373　件

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題　　名	雑　誌　名
1	西原 智恵	心療内科	悪性リンパ腫の化学療法後に呼吸不全が進行し、閉塞性細気管支炎と診断された一例	日本呼吸器学会誌:2014.3:3(2): 281-286
2	西原 智恵	心療内科	たこつぼ型心筋症を合併した神経性食欲不振症の2例	心身医学:2014.1:54(1):67-74
3	帯刀 英樹	心臓血管外科	ノーウッド術後の難治性気胸に対し自己血による胸膜癒着術が有効であった1例	日心外会誌 43(6):340-343、2014.12月
4	藤本 智子	心臓血管外科	動脈スイッチ手術後の大動脈吻合部狭窄	日心外会誌 43(2):62-66、2014.5月
5	松永 壮人	第一外科	腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術後の内ヘルニアに起因する胆汁性腹膜炎の1例	日鏡外会誌19(1):79-83
6	佐田 政史	第一外科	Ⅲ. 胆膵-膵臓- 9.膵癌の個別化治療を探る	Annual Review 2014 消化器
7	永井 英司	第一外科	幽門側胃切除術後再建 Roux-en-Y 再建:リニア再建(順蠕動)	臨床外科69(5):584-591
8	石井 泰	第一外科	術前EUSにおいてgastrointestinal stromal tumorと鑑別が困難であった胃原発性calcifying fibrous tumorの1例	日本消化器外科学会雑誌47(5):268-274
9	田中 雅夫	第一外科	【IPMN(膵管内乳頭粘液性腫瘍)Update】IPMN国際診療ガイドライン 初版から改訂版への進化	医学のあゆみ249(2):145-149
10	寺坂 壮史	第一外科	腎移植におけるICU管理	ICUとCCU38(2):83-89
11	木村 英世	第一外科	腸瘻からのImatinib投与による術前寛解導入化学療法が奏効し安全に切除し得た空腸GISTの1例	癌と化学療法
12	松永 壮人	第一外科	胃全摘術後に発症した乳糜腹水を伴う内ヘルニアの1例	日本臨床外科学会誌75(5):1261-1264
13	上田 純二	第一外科	慢性膵炎における膵癌の合併	臨床消化器内科
14	大内田 研宙	第一外科	【臨床検体から導き出す消化器病研究】膵液中バイオマーカーで膵疾患の診断、早期発見はできるか	分子消化器病11(1):42-49
15	木村 英世	第一外科	同時性放射線誘発悪性腫瘍と思われる結腸多発癌と腸骨部多形性肉腫の1例	日本臨床外科学会雑誌75(1):144-149

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文（任意）

番号	発表者氏名	所属診療科	題　　名	雑　誌　名
16	木村 英世	第一外科	膵NETの外科治療：術式選択の実際	胆と膵
17	伊達 健治朗	第一外科	輸血を契機に後天性血友病Aを発症し手術時期に苦慮した胃癌の1例	日本臨床外科学会雑誌75(11):3046-3050
18	永吉 絹子	第一外科	医師を配偶者に持つ女性外科医師のワークライフバランスの現状と問題点	日本外科学会雑誌115(6):357-361
19	高畑 俊一	第一外科	先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡下胆管切除再建術	胆と膵35(11):1267-1270
20	大塚 隆生	第一外科	腹腔鏡下膵局所切除術	胆と膵35(11):1277-1281
21	永井 英司	第一外科	必見!完全体腔内再建の極意 胃全摘術後再建　Inverted T法	臨床外科69(10):1232-1239
22	田中 雅夫	第一外科	巻頭言　特集/膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)の診療の現状	臨床消化器内科29(13):1665
23	大塚 隆生	第一外科	集学的アプローチに基づいた主膵管型膵管内乳頭粘液性腫瘍の至適治療方針	Gastroenterological Endoscopy56(2):2777
24	真鍋 達也	第一外科	当科における単項式ストーマの術式と合併症の検討	日本大腸肛門病学会雑誌67(9):736
25	植木 隆	第一外科	新しい腹腔鏡下大腸癌手術の手技と定型化 支配血管を考慮し定型化を目指した間膜挟み撃ちによる腹腔鏡下横行結腸D3郭清術	日本大腸肛門病学会雑誌67(9):657
26	永吉 絹子	第一外科	キャリア継続のために女性外科医師に必要な意識改革とは ―当教室女性外科医師20名に対するアンケート調査より―	日本外科学会雑誌115(6):357-361
27	宮坂 義浩	第一外科	膵炎大全～もう膵炎なんて怖くない～V.膵炎各論　腹部外傷による膵損傷（膵炎）	胆と膵35(臨時増刊特大号):1195-1198
28	梁井 公輔	第一外科	局所進行大腸癌に対する腹腔鏡下手術の適応と限界(	日本大腸肛門病学会雑誌
29	石橋 達朗	眼科	糖尿病黄斑浮腫患者を対象としたペガプタニブナトリウムの国内第Ⅲ相臨床試験	日本眼科学会雑誌118(9):773-782
30	石橋 達朗	眼科	日本における視覚障害の原因と現状	日本眼科学会雑誌118(6):495-501

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題　　名	雑　誌　名
31	田邉 美香	眼科	Ocular surface squamous neoplasiaの34症例	日本眼科学会雑誌 118(5):425-432
32	吉弘 苑子	検査部	クレアチニン改良試薬の基礎的性能評価	日本臨床検査自動化学会会誌 2014:651-655
33	清祐 麻紀子	検査部	佐賀県における抗菌薬耐性菌の検出状況	臨床病理:2014:546-551
34	酒田 あゆみ	検査部	脳波検査技師の役割とその変化	Epilepsy:2014:44-46
35	松元 佳嗣	放射線部	精上皮腫に対する術後放射線治療時における睾丸シールドの有効性の検討	日本放射線技術学会雑誌. 2014; 70(9): 883-887
36	福永 淳一	放射線部	前立腺がんIMRTの治療計画における金マーカーの線量分布および線量評価指標への影響について	日本放射線技術学会雑誌. 2014; 70(12): 1429-1438
37	木下 絵美	放射線部	放射性医薬品投与後の超音波検査における従事者の被ばくについて	日本診療放射線技師会誌. 2015; 62(748): 9(137)-14(142)
38	池田 哲夫	先端医工学診療部	ステイプリングデバイスのピットフォールと対策	外科:2014年12月;76(12):1347-1351.
39	赤星 朋比古	先端医工学診療部	腹空鏡下脾摘除術のピットフォールと対策	外科:2014年12月;76(12):1447-1455.
40	赤星 朋比古	先端医工学診療部	突発性門脈圧亢進症	小児外科:2015年3月;47(3):273-276.
41	池田 哲夫	先端医工学診療部	肝・膵手術におけるElectrothermal Bipolar Vessel Sealing (EBVS)の役割	手術:2015年3月;69(3):247-254.
42	池田 哲夫	先端医工学診療部	胆道ドレナージ:胆管完全閉塞、末梢胆管未拡張および胆汁漏合併例に対するRendezvous Techniqueの手技と有用性の検討	日本腹部救急医学会雑誌 :2015年3月;35(3):223-231.
43	池末 裕明	薬剤部	オピオイド鎮痛薬による消化器系副作用対策に関する多施設共同研究 (J-RIGID study) のサブ解析 -各県における緩下剤処方状況と評価-	日本病院薬剤師会雑誌:2014 Sep;50(9):1117-21
44	増田 啓次	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	トモシンセンスを応用した新しい側方歯幅径予測法の開発	小児歯科学会雑誌 53(1): 27-34 2015
45	増田 啓次	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	鼻腔内の過剰歯を本院耳鼻咽喉科と連携し内視鏡下に摘出した1例	小児歯科学雑誌 52(4): 551 -558 2014

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題　　名	雑　誌　名
46	山座 治義	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	Angelman症候群の患児に多数歯齲蝕を認めた1例	小児歯科学雑誌 52(4): 559 -564 2014
47	増田 啓次	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	Dandy-Walker variantの患児に歯の形成不全症の合併が疑われた1例	小児歯科学雑誌 52(3): 440 -447 2014
48	吉嶺 嘉人	歯内治療科	Er:YAGレーザーを用いた抜髄法に関する基礎的研究	日本歯科保存学会雑誌:2014年6月;57(3):260-267.
49	松本 妃可	歯内治療科	光硬化型MTA様セメントの逆根管充填への応用　－鎖性と硬化深さに関するex vivoでの研究－	日本歯科保存学会雑誌:2014年12月;57(6):563-569.
50	新井 裕基	歯内治療科	Er:YAGレーザーを用いた逆根管窩洞形成に関する研究　－窩壁の超微構造と歯根表面の温度変化	日本歯内療法学会雑誌:2014年9月;35(3):125-132.
51	新井 裕基	歯内治療科	逆根管窩洞形成へのEr:YAGレーザー応用に関する研究　－封鎖性への影響と殺菌効果	日本歯科保存学会雑誌:2014年12月;57(6):530-539.
52	木原 智子	歯内治療科	透明根管模型を用いたレーザー洗浄効果の解析　－2根管模型におけるPIPS効果－	日本歯内療法学会雑誌:2015年1月;36(1):17-23.
53	佐々木 匡理	顔面口腔外科	インプラント周囲炎を模擬した骨吸収モデルにおける周囲骨の力学的評価	日本口腔インプラント学会誌:2014;27(3):321-330.
54	山田 朋弘	顔面口腔外科	習慣性顎関節脱臼に対する外科的処置とその問題点-Buckley-Terry法と関節結節削除法の比較-	日本口腔外科学会雑誌:2014;60(1):2-6
55	山田 朋弘	顔面口腔外科	特発性唾液腺型高アミラーゼ血症の1例	日本口腔外科学会雑誌:2014;60(1):23-28
56	山田 朋弘	顔面口腔外科	下顎骨に発生した骨未分化高悪性度多形肉腫の1例	日本口腔腫瘍学会雑誌:2014;4: 193-198.

合計 56 件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	(有)・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	(有)・無
・　手順書の主な内容 設置、任務、組織、委員長及び副委員長、議事、委員以外の者の出席、申請手続き及び審査結果の通知、迅速審査、有害事象等への対応、実施状況報告、情報公開、記録の保存、秘密の保持、事務	
③　倫理審査委員会の開催状況	年１２回

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	(有)・無
②　利益相反の管理に関する規程の整備状況	(有)・無
・　規程の主な内容 目的、定義、対象事象、委員会、審議事項、ガイドライン、自己申告、審議・勧告等の手続、関係機関との連携、啓発運動、受付相談、守秘義務、情報公開、事務	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年４回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年４回
・研修の主な内容 臨床研究の概要（必須知識）、臨床研究の立案から遂行まで、研究医療と規制、企業主導治験の遂行、ガイダンス「ＡＲＯ次世代医療センターの活用法」、認定試験	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

初期研修医は基本的に下記のとおり２年間研修を行っている。
内科６ヶ月（血液・腫瘍内科/免疫・膠原病・感染症内科、消化管内科/腎・高血圧・脳血管内科、
（１０科）　内分泌代謝・糖尿病内科/肝臓・膵臓・胆道内科、心療内科、神経内科、循環器内科、
呼吸器科、皮膚科、放射線科、総合診療科）
救急３ヶ月（救命救急センター）
選択必修３ヶ月（第一外科、第二外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、眼科、
（１３科）　泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、麻酔科蘇生科、小児科、産科婦人科、精神科
神経科）
選択１１ヶ月（内科１０科＋救急＋選択必修１３科＋先端分子・細胞治療科＋病理部＋形成外科）
地域医療１ヶ月

歯科研修医は下記のとおり１年間研修を行っている。
プログラムＡ１（単独型研修方式）　：総合臨床研修、口腔保健科系（小児歯科・スペシャルニーズ歯科、矯正歯科）研修
プログラムＡ２（単独型研修方式）　：保存系、補綴系、口腔外科系ローテート研修
プログラムＢ（臨床研修施設群方式）：総合臨床研修、地域医療研修

2　研修の実績

研修医の人数	117　人

（注）前年度の研修医の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
赤司　浩一	血液・腫瘍内科	診療科長	30年	
赤司　浩一	免疫・膠原病・感染症内科	診療科長	30年	
北園　孝成	消化管内科	診療科長	31年	
北園　孝成	腎・高血圧・脳血管内科	診療科長	31年	
野村　政壽	内分泌代謝・糖尿病内科	副診療科長	28年	
伊藤　鉄英	肝臓・膵臓・胆道内科	副診療科長	33年	
須藤　信行	心療内科	診療科長	27年	
吉良　潤一	神経内科	診療科長	36年	
井手　友美	循環器内科	副診療科長	21年	
中西　洋一	呼吸器科	診療科長	35年	
加藤　聖子	産科婦人科	診療科長	29年	
酒井　康成	小児科	副診療科長	21年	
中村　雅史	第一外科	診療科長	28年	
前原　喜彦	第二外科	診療科長	39年	
岩本　幸英	整形外科	診療科長	38年	
飯原　弘二	脳神経外科	診療科長	29年	
塩川　祐一	心臓血管外科	副診療科長	38年	
田口　智章	小児外科	診療科長	37年	
古江　増隆	皮膚科	診療科長	36年	
横溝　晃	泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科	副診療科長	25年	
神庭　重信	精神科神経科	診療科長	35年	

園田　康平	眼科	診療科長	年	
中島　寅彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	副診療科長	28年	
本田　浩	放射線科	診療科長	37年	
外　須美夫	麻酔科蘇生科	診療科長	38年	
古庄　憲浩	総合診療科	副診療科長	21年	
門田　英輝	形成外科	診療科長	17年	
土方　康基	先端分子・細胞治療科	副診療科長	17年	
小田　義直	病理診断科・病理部	診療科長	29年	
野中　和明	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	診療科長	37年	
髙橋　一郎	矯正歯科	診療科長	28年	
赤峰　昭文	歯内治療科	診療科長	42年	
西村　英紀	歯周病科	診療科長	31年	
古谷野　潔	義歯補綴科	診療科長	34年	
牧平　清超	咬合補綴科	副診療科長	22年	
中村　誠司	顎口腔外科	診療科長	34年	
森　悦秀	顔面口腔外科	診療科長	34年	
横山　武志	歯科麻酔科	診療科長	26年	
吉浦　一紀	口腔画像診断科	診療科長	33年	
和田　尚久	口腔総合診療科	診療科長	18年	
二木　寿子	全身管理歯科	医局長	35年	

(注) 1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

①　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容：①看護倫理研修、②リーダーシップ研修、③退院調整看護師育成研修、④臨床研究担当看護師育成研修、⑤問題解決技法研修 ・研修の期間・実施回数：期間は平成26年度、実施回数は①1回、②2回、③2回、④1回、⑤1回 ・研修の参加人数：①26名、②80名、③40名、④30名、⑤198名
②　業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容：労務管理研修会 ・研修の期間・実施回数：期間は平成26年度、実施回数は1回 ・研修の参加人数：132名
③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容：①九州大学病院がんセミナー、②福岡県メディカルスタッフがん医療研修会 ・研修の期間・実施回数：①5回、②1回 ・研修の参加人数：①約244名、②200名

(注) 1　高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1．計画　②．現状
管理責任者氏名	病院長　石橋達朗
管理担当者氏名	各診療科長 診療録管理室長 水元一博 放射線部長 本田浩 薬剤部長 増田智先 総務課長 調卓二 医療連携センター長 水元一博 医療管理課長 坂井光太郎 患者ｻｰﾋﾞｽ課長 黒石博行

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書				・診療に関する諸記録及びエックス線写真は、平成 20 年 2 月 1 日以降の外来及び入院診療分から、電子カルテ及びＰＡＣＳ（医用画像）にて電子媒体保存している。平成 20 年 2 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日までの一部診療に関する各科の記録書類（紹介状、入院診療計画書等）については、外来・入院文書フォルダーで診療録管理室にて一括保管している。平成 25 年 1 月 1 日からは全て電子媒体保存している。 ・本学で定められた保存期間（10 年）内の紙カルテは診療録管理室にて一括中央管理で保管しており、保存期間を超過した紙カルテは原則廃棄している。 ・電子化前のエックス線写真は各検査の種類により、各診療科及び放射線部が保管管理している。
エックス線写真			各診療科 放射線部	
処方せん			薬剤部	
病院日誌			総務課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿		総務課	
	高度の医療の提供の実績		患者サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績		患者サービス課	
	高度の医療の研修の実績		総務課	
	閲覧実績		総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績		医療連携センター	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿		患者サービス課 薬剤部	
	二規十則第第一一項条第の一十号一に第掲一げ項る各体号制及のび確第保九条状況の	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療管理課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療管理課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療管理課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療管理課	
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者サービス課	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に	規則	院内感染のための指針の策定状況	医療管理課	

関する諸記録	第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための委員会の開催状況	医療管理課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療管理課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療管理課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1．計画　　②．現状	
閲覧責任者氏名	事務部長	
閲覧担当者氏名	総務課長	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	

閲覧の手続の概要

九州大学が保有する法人文書について「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、どなたでも、九州大学に対し開示を請求することができる。

【開示請求できる文書】

九州大学の役員又は職員が職務上作成又は取得した文書、図面、電磁的記録で職員が組織的に用いるものとして、九州大学において保有しているものが対象となる。

ただし、書籍等の市販物や、一般の閲覧に供するために特別の管理がなされている機関として総務省の指定を受けている九州大学附属図書館、九州大学大学文書館が保有する歴史的資料又は学術研究用資料等は開示請求の対象から除く。

【不開示となる文書】

開示請求を受けた法人文書は原則としてすべてを開示するが、不開示となる情報が記録されている場合は、その部分を除いて開示する。九州大学では、開示請求を受けた法人文書について、「九州大学における法人文書の開示基準」に基づき、開示・不開示を決定する。

【開示・不開示決定の通知】

法人文書の開示・不開示の決定は、原則として開示請求があった日から30日以内に行われ、その後速やかに開示請求者に通知する。開示決定期限が30日を超えて延長となる場合はその旨開示請求者に通知する。

【開示請求手数料、開示実施手数料】

○開示請求手数料　開示請求に係る法人文書1件につき300円

○開示実施手数料　開示決定後、開示の実施に際して、実施方法ごとに定められた開示実施手数料を納めなければならない。例として、閲覧による場合は100頁単位ごとに100円、写しの交付による場合は、1頁ごとに10円。なお、開示実施手数料は法人文書1件につき通常300円まで控除される。

【開示請求方法】

法人文書開示請求書に必要な事項を記載し、九州大学情報公開事務室に提出する（郵送可）。

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延　0　件
閲覧者別	医師	延　0　件
	歯科医師	延　0　件
	国	延　0　件
	地方公共団体	延　0　件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

（様式第6）

規則第１条の１１第１項各号及び第９条の２３第１項第１号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有

・ 指針の主な内容：

人は誰でも間違いを起こす可能性がある。一方、九州大学病院は特定機能病院として「患者に満足され、医療人も満足できる」医療を安全に提供するとともに、その医療の透明性を確保することを、社会から求められている。そこで本院はこの基本方針に従って、間違いを誘発しない環境や、医療上の事故等を未然に防ぐことができるシステム、ならびに医療上の事故等が発生した場合に適切に対応できる体制の構築に取り組む。

（１）医療安全管理委員会は病院長のもと関連部署・職員と連携し、医療の安全管理に取り組む。
（２）医療安全管理委員会は「医療安全管理マニュアル」を作成し、職員に周知する。
（３）職員は医療安全管理に関する教育や研修に年度内２回以上参加する。
（４）医療上の事故等が発生した場合、職員は医療上の最善の措置をすみやかに講じるとともに、患者・家族の身体・精神状態を考慮しつつ、事実を誠実かつすみやかに説明する。
（５）職員はインシデント･医療上の事故等が発生した場合には、各々の規程に従って報告する。
（６）医療安全管理委員会は医療の安全管理対策・改善策等の情報を職員にフィードバックし、職員全体での共有を図る。
（７）本院は医療の安全管理に関する基本方針を病院内掲示板等にて公開する。
（８）患者からの相談のうち、特に医療安全に係わりがあると判断された事例についてはセーフティマネージャーが対応する。

② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 １２ 回

・ 活動の主な内容：

（１）医療事故防止のための具体的措置に関すること。
（２）医療安全管理マニュアルに関すること。
（３）医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。
（４）医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。
（５）改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。
（６）医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。
（７）医療事故等発生時の患者や家族への説明に関すること。
（８）インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。
（９）医療安全管理部（以下「安全管理部」という。）の業務に関すること。
（10）医療事故調査制度に関すること。
（11）その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 ４０ 回

・ 研修の主な内容：別紙のとおり

④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・　医療機関内における事故報告等の整備　（　有　）
・　その他の改善のための方策の主な内容：

○インシデント情報の発信
日々報告のあるインシデント事例より特に警鐘を促すべき事例について毎月１回ニュース（ポスター）を作成、また日本医療機能評価機構からの医療安全情報や報道事例について院内職員へ注意喚起している
○リスクマネージャーを対象とした研修会、今年開始される医療事故調査制度の周知を目的とした研修会の開催
○医療安全管理マニュアルとホームページの改訂
○「M&M カンファレンス」の開催、検討結果のホームページへの掲載
○気管支鏡のチャンネル径の表示と異物除去デバイスの準備
○PET-CT 検査前チェックリストの作成
○身体抑制マニュアルの改訂
○ガベキサートメシル酸塩の院内ルール作成
○報告すべき事例の例示の検討
○インスリン注射指示だし、指示受け実施に関する院内ルール作成
○再活性化 B 型肝炎予防策策定とシステム改修の検討

⑤　専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（　3　名）
⑥　専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（　5　名）
⑦　医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有

・　所属職員：　専任（　３　）名　兼任（　２５　）名
・　活動の主な内容：

（１）委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他委員会の庶務に関すること。
（２）事故等に関する診療録や看護記録等への記載が、正確かつ十分になされていることの確認並びに指導に関すること。
（３）患者や家族への説明など、事故発生時の対応状況についての確認並びに指導に関すること。
（４）事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認並びに指導に関すること。
（５）医療安全に係る連絡調整に関すること。
（６）インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。
（７）医療安全に係る職員の教育・研修の企画・立案・実施等に関すること。
（８）各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書の作成、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録に関すること。
（９）医療安全管理マニュアルの編集及び見直しに関すること。
（10）その他医療安全対策の推進に関すること。

⑧　当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有

（様式第６）

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①　院内感染対策のための指針の策定状況	有
・　指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 院内感染発生時の対応に関する基本方針 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 その他本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
②　院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・　活動の主な内容： 院内感染対策のための措置に関する審議 職員の教育・研修に関する審議 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案・実施、職員への周知	
③　従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年40回
・　研修の主な内容：　別紙のとおり	
④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・　病院における発生状況の報告等の整備　　（　有　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： ・感染症法に基づく院内報告基準の改訂 ・感染情報レポート等活用による情報共有と部署への指導 ・アウトブレイク予兆ラウンド、早期介入 ・ICT教育ラウンド・環境ラウンドでの標準予防策の遵守確認 ・経路別予防策の指導・教育 ・手指消毒剤使用量モニタリングと手指衛生遵守率確認 ・ベストプラクティスの作成、遵守状況確認 ・抗菌薬適正使用に向けた介入（血液培養陽性症例、抗MRSA薬・広域抗菌薬使用症例、カルバペネム系抗菌薬長期使用症例） ・交差感染防止のための自動蓄尿装置使用禁止	

（様式第６）

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
②　従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年　３　回
・　研修の主な内容：別紙のとおり	

③　医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・　手順書の作成　　（　有　）
・　業務の主な内容：

○看護師、薬剤師による病棟および外来詰所配置注射薬の管理状況チェック（週１回）

○薬剤師による病棟及び外来詰所配置薬剤全般の管理状況チェック（３ヶ月毎）

○救急カート内注射薬の見直し、期限チェック、入れ替え

④　医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医薬品に係る情報の収集の整備　　（　有　）
・　その他の改善のための方策の主な内容：

○手順書の見直し

○情報の院内通知（ホームページ、電子メール、オーダシステム上）

特に重要な情報については、処方医に文書を送付

○副作用を収集して院内に周知するとともに、重篤事例を厚生労働省へ報告

○疑義照会データの共有による医師のオーダ内容の適正化

○類似名称薬剤の処方、調剤、与薬間違い防止のためにオーダ名称表示方法を工夫

（様式第 6）

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 ３７ 回
・ 研修の主な内容：別紙のとおり	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 （ 有 ） ・ 保守点検の主な内容： （１）人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。 （２）日常点検（始業、使用中、終業）と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順書により実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ 有 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： （１）院内情報は医療安全管理部に報告され、管理者及び医療安全管理責任者に情報が伝達される。 （２）院内情報は医薬品医療機器総合機構配信サービス等により情報を収集している。 （３）収集した情報は医療機器安全管理専門委員会において各委員会に報告し、関連部署へ周知している。	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　病院の機能に関する第三者による評価

①　病院の機能に関する第三者による評価の有無	(有)・無

・評価を行った機関名、評価を受けた時期

1)「公益財団法人日本医療機能評価機構」の「病院機能評価Ver. 6. 0」の更新審査を平成24年10月に受審し平成25年2月1日付けで認定（認定期間～平成30年1月27日）

2)「公益財団法人日本適合性認定協会」の「ISO15189」（臨床検査室）の更新審査を平成25年11月に受審し平成26年3月26日付けで認定（認定期間～平成30年3月31日）

3)「日本輸血・細胞治療学会」の「I&A」（遺伝子・細胞療法部）の更新審査を平成26年10月に受審し平成27年4月30日付けで認定（認定期間～平成32年3月31日）

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	(有)・無

・情報発信の方法、内容等の概要

○病院のホームページ

外来・入院・見舞い案内、病院紹介、診療科・センター・施設等案内、医療連携、採用情報、トピックス等の情報を提供

○広報誌

1) 病院概要（県内病院、国立大学、官公庁向けに送付）

診療科、部、センター等の案内、病院統計資料等の情報を提供

2) 九大病院ニュース（県内外の病院、県医師（歯科医師）会、大学病院、官公庁向けに送付）

先進医療、臨床研究、医療連携、センター、トピックス等の情報を提供

3) 九大病院だより（患者向けに配布）

診療科・センターの診断・治療、外来診療日一覧、トピックス等の情報を提供

4) 診療科リーフレット（患者向けに配布）

病気の症状・治療法・検査内容等を診療科ごとに案内

○記者懇談会

九州大学記者クラブ（新聞社、テレビ局）に本院の情報を提供（新治療法、施設設置等）

3　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	(有)・無

・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要

○周術期支援センター

手術を受ける患者に、安全かつ円滑に手術前後の時期（周術期）を過ごしてもらうため、医師や看護師など他職種が連携して周術期管理の質の向上を目指す、周術期支援センターを開設した。

患者の全身状態は周術期の安全の維持に非常に大きな意味を持っていることから、周術期支援センターでは、麻酔科医が入院前に診察を行い、全身状態を把握し、手術に支障となる問題点があれば、どちらの治療を優先するべきかどうか判断する。専任看護師は身体的精神的評価と麻酔・手術のオリエンテーションを行い、不安の軽減に努める。また、周術期口腔ケアセンターと連携し、口腔ケアを確実に行い、周術期感染症の減少にも努める。手術前に中止すべき薬剤の確認を薬剤師が行い、確認もれによる手術中止や延期を防ぐ。このように患者を中心として、外科系医師、麻酔科医師、歯科医師、看護師、薬剤師、放射線部、事務など様々な職種が密に連携をとり協力して患者支援を進める体制をとっている。